

二級河川瀬野川水系河川整備計画に関する  
住民アンケート結果

広島県

## 目 次

	頁
1. アンケート調査概要	1
2. アンケート調査票	3
3. アンケート調査結果(単純集計)	5
4. アンケート調査結果(クロス集計)：河川別	20
5. アンケート調査結果(クロス集計)：居住地別	33
6. アンケート調査結果による河川整備計画への反映	46

# 1. アンケート調査概要

## (1) 目的

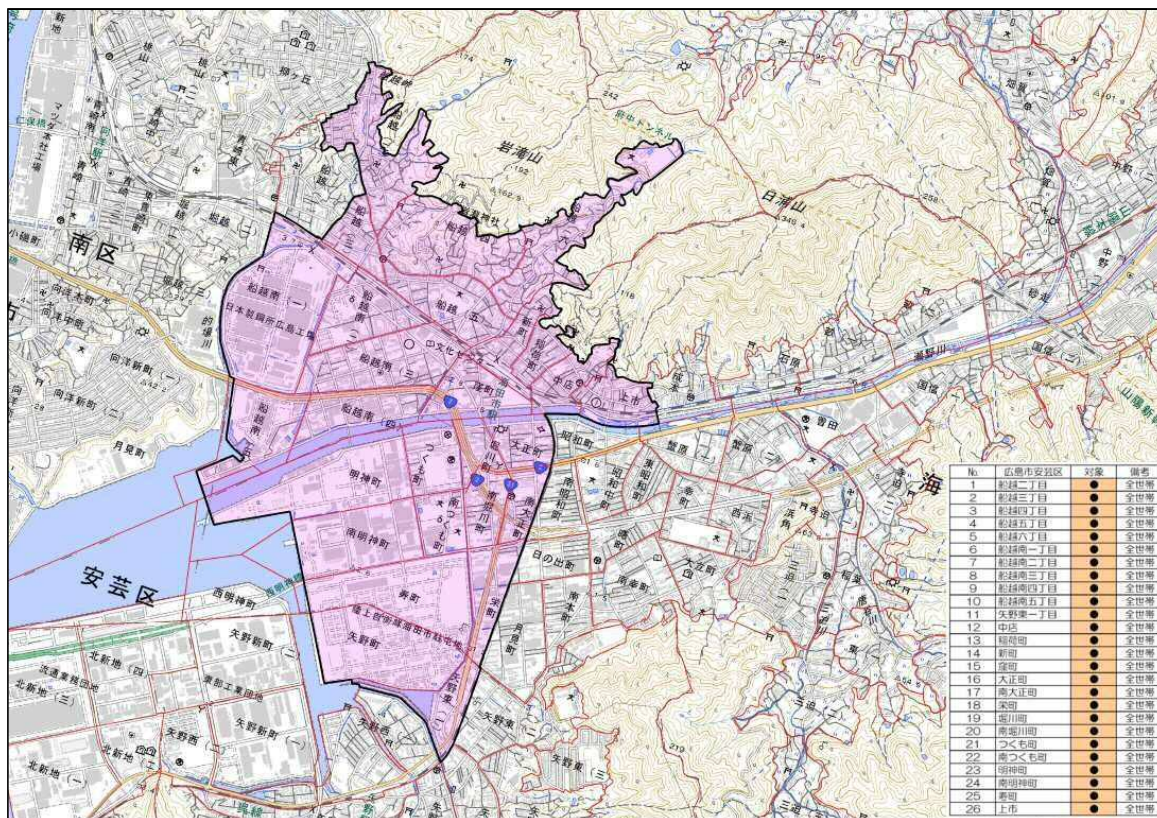
本アンケートは、河口周辺に居住する住民意見を聴取することを目的としている。聴取した意見については集計を行い、結果を河川整備計画に反映させた。

集計方法は単純集計、クロス集計とした。クロス集計は、委員のご意見を踏まえ、身近な河川ごとの特性を把握するため実施した。

## (2) 調査対象者

アンケート調査は、紙媒体の調査とWEB調査を実施した。

紙媒体では、流域内及び氾濫原の各世帯を対象として日本郵便株式会社のサービスである「タウンプラス」を使用し、WEB調査では広島県HPに公開し回答を得るものとした。



アンケート配布範囲

※高潮計画規模である伊勢湾台風規模の高潮浸水想定区域（的場川～矢野川）を中心として、配布範囲を設定した。

### (3) 配布数

<紙媒体>

8,419部：日本郵便株式会社の各戸郵便受け設置数による集計

<WEB媒体>

無制限：広島県HPに紙媒体と同じ内容のアンケート（Excel形式）を掲載

<パブコメ>

無制限：広島県（県庁、各事務所及び支所）、海田町に紙媒体と同じ内容のアンケートを配置

### (4) 配布方法

紙媒体の配布は、次のとおりとした。

配布方法：アンケート用紙及び返信用封筒（長3）在中の封筒（角2）を郵便局に持ち込み、ポストに投函

### (5) アンケート調査期間

アンケート調査期間は、次のとおりとした。

<紙媒体>

・差出期間（配布期間）

令和4年11月18日（金）～令和4年11月26日（土）

・アンケート調査期間

令和4年11月18日（金）～令和4年12月7日（水）（19日間）

※令和4年12月31日消印のあるものを対象とした。

<WEB媒体> <パブコメ>

・配置期間

令和4年11月18日（金）～令和4年12月7日（水）

・アンケート調査期間

令和4年11月18日（金）～令和4年12月7日（水）（19日間）

※令和4年12月31日消印のあるものを対象とした。

### (6) アンケート回収率

アンケート回収率は以下のとおりである。

アンケート回答率等一覧表

形式	配布数	回答数	自由意見数	回収率
紙	8,419	2,027	754	24.08%
WEB	無制限	3	1	-
合計	8,419	2,030	755	-

※令和4年12月31日消印のあるものを対象とした。また、すべての間に無回答とした回答（1通）は回答数から除外した。

## 2. アンケート調査票

アンケート調査票は、以下に示すとおりである。

# 瀬野川水系の川づくりについてのアンケート

## みなさんのご意見をお聞かせください！

日頃より、広島県行政の推進に御協力いただき、御礼を申し上げます。

瀬野川水系では、概ね10年間の「具体的な整備の目標」及び「整備内容」を定めた河川整備計画を平成16年9月に策定し、主に環境整備事業を実施してきたところですが、平成16年9月の台風18号をはじめ、河口付近において度々高潮による浸水被害が生じていることを踏まえ、このたび、河川整備計画の変更を検討しています。

計画策定に際し、地域の皆様が日頃から感じていることや川に求めるものなどを広く伺い、計画策定の参考とさせていただきますためにアンケート調査を行います。

より良い「川のありかた」の検討のため、ご協力をお願い致します。

### ■河川整備計画とは・・・

河川整備計画は、概ね20～30年間の具体的な河川工事及び河川の維持に関する事項等を定めた計画です。地域住民の皆様や学識経験者の意見を聴取し、策定することが河川法で規定されています。

別紙「アンケート調査用紙」にご記入の上、宛封の返信用封筒に入れ、**令和4年12月7日(水)**までに返送してください(切手は不要です)。

- ※ このアンケートにより収集した情報は、河川整備計画の作成にのみ使用いたします。
- ※ アンケート調査の結果は、「第30回河川整備基本方針等検討委員会」の中で報告するほか、広島県河川課のホームページに掲載させていただきます。
- ※ アンケート調査用紙は広島県西部建設事務所でも入手可能です。
- ※ 本アンケートは下記のURLからも回答できます。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/99/seibikeikaku-nabukome.html>  
 (「広島県 河川課 整備計画 アンケート」で検索)

<連絡先> 広島県 西部建設事務所 担当者: 東部連続立体交差事業課 久保・見藤  
 〒732-0816 広島県広島市南区比治山本町16-12  
 TEL(082)250-8160 FAX(082)255-3019

### 瀬野川と流域の概要

瀬野川は、その源を東広島市の皆瀬ヶ城山に発し、概ね西流し、途中、熊野川や畑賀川等の支川を合わせながら広島市安芸区や海田町を貫流し、広島湾に注ぐ二級河川です。

その流域は122.2km<sup>2</sup>、幹線流路延長22.5kmに及び、広島市、東広島市、海田町、熊野町の2市2町にまたがり、国道2号やJR山陽本線が並走するなど広島市都市圏の東部地方における社会・経済・生活の基盤をなしています。

### 浸水被害の発生状況

瀬野川水系では、河口部において、平成3年、平成11年、平成16年に高潮による浸水被害が発生しています。また、平成30年洪水では瀬野川や支川の土砂堆積による溢水が発生し、広範囲の浸水被害が発生しています。

※ [上図] 広島市HP「広島市の台風による高潮浸水区域図」  
 (https://www.city.hiroshima.lg.jp/shobou/takashio/)

# 瀬野川水系の河川整備計画の概要

## 広島県ではこのような川づくりを検討しています

### 治水について

- 瀬野川河口部において、伊勢湾台風規模の台風が広島湾を通過した場合でも、**越水による浸水被害(越波による浸水被害は除く)**を防止することを目的として、**高潮対策**を実施します。
- 瀬野川河口部は、海岸保安区域において実施している高潮対策事業と整合を図り、**広島沿岸海岸保安基本計画**に準じてTP+4.76m堤防高で高潮堤防を整備します。  
 ※TP:Om:東京湾平均海面(Tokyo Peil)から5Omの高さ(標高Om)

### 利水について

- 貴重な動植物の生息・生育環境、景観を保全し、比較的良好な**現在の流況を維持**します。また、洪水時には関連情報を収集し、状況把握や河川流量等に関する情報提供を行うなど円滑な濁水調整を行います。
- 流域の市街化の進展及び土地利用の変化などに起因する水質悪化が懸念される際は、住民や関係機関と連携を図りながらその対策を行います。

### 河川環境について

- カジカ中卵型、ゲンジボタル、カワセミなど**貴重な生物が生息する現在の良好な自然環境に配慮**するとともに、瀬と淵、水際の植生を復元するなど、**河川毎、地域毎の特性にも配慮した河川環境の保全**に努めます。
- 河川空間の利用に関しては、都市部における貴重なオープンスペースとなっている中・下流部において、**関係自治体や地域住民と連携して河川公園等の河川空間の保全**に努めます。

### 維持管理や関係機関との連携について

- 平成30年7月豪雨の洪水で浸水被害が発生した区間については、**暫定的な護岸のかさ上げ**を実施するなど、**浸水被害の軽減**を図ります。堆積した土砂等が、治水上支障となる場合は、環境面も配慮しつつ**掘削等必要な対策**を講じます。
- 河床低下により、護岸等構造物の基礎が露出すると災害の原因となるため、**監視・点検等において早期発見に努めるとともに、河川管理上支障となる場合は、適切な処理**を行います。
- 気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、**河川の流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で水害の軽減**を図ります。

### 河川整備計画対象期間: 概ね30年間

**ソフト対策の内容**  
 ・防災情報の提供  
 ・地球や関係機関との連携等(自主防災組織の活動支援)

**ハード対策の内容**  
 ・高潮対策(高潮堤防整備)

高潮堤防整備区画 右岸 L=約1.5km  
 高潮堤防整備区画 左岸 L=約1.7km  
 TP+4.76m 高潮堤防整備区画 左岸(イメージ図)

広島湾の高潮堤防区画

アンケートは、別紙になります。ご協力をお願いいたします。

# アンケート調査用紙

皆様のご意見を川づくりに反映していきます。

- ▶ 今回のアンケート調査は、瀬野川流域における河川整備計画を策定するにあたり、地域住民の皆様が日頃から感じていることや川に求めるものを広く知り、河川整備計画を検討する際の参考とさせていただきます。
- ▶ 回答は選択肢の中から選び、本アンケート用紙に直接○を付けてください。また、「その他」を選択した場合は、後ろの( )内に具体的にその内容をご記入ください。質問によっては、「複数選択可」としてありますので、ご注意ください。
- ▶ 質問は、質問1～質問16まで存在し、おまて面、うら面にございます。
- ▶ なお、本アンケートにご回答いただく前に、別紙の「瀬野川水系の川づくりについて」を一読して頂き、以下の質問にお答えください。

## 基本属性

- 質問 1** 年齢を教えてください(1つ選択)
- ①20歳未満 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70歳以上
- 質問 2** お住まいの地域を教えてください *※地域属性を把握するため、必ずご記入ください!*
- 広島市安芸区 ( ) 丁目 ( )  
安芸郡海田町 ( ) 町 ( )
- 質問 3** 「瀬野川」はどれですか(1つ選択)
- ①瀬野川 ②尾崎川 ③的場川 ④その他( )川 ⇒ 質問4へ①～④回答の方  
⑤瀬野川はない ⇒ 質問8へ
- 質問 4** 現在お住まいの場所は、「瀬野川」からどのくらいの距離ですか(1つ選択)
- ①川沿い ②徒歩5分以内 ③徒歩5分～10分 ④徒歩10分～20分 ⑤徒歩20分以上
- 質問 5-1** いつから現在の場所にお住まいですか(1つ選択)
- ①平成31年以降 ②平成17年以降 ③平成12年以降 ④平成4年以降  
⑤昭和50年以降 ⑥昭和40年以降 ⑦昭和40年より前
- 質問 5-2** 水害を経験したことがありますか
- 「①ある」を選択された方は、経験された水害を○で囲んでください(複数選択可)
- ①ある [平成30年7月豪雨・平成16年9月高潮・平成11年9月高潮・平成3年9月高潮・その他( )]  
②ない

## 治水について感じていること

- 質問 13-1** 現在の「瀬野川水系」の高潮対応状況について、どのように感じていますか
- ①十分である ②不十分である ③よくわからない
- 質問 13-2** 今後、「瀬野川水系」の災害対策について、特に必要なのは何だと思えますか(複数選択可)
- ①川幅を広げる、堤防のかさ上げなどの河川改修 ②堤防や護岸を壊れにくくする質的強化  
③河道掘削などの維持管理 ④高潮被害軽減のための高潮対策  
⑤砂防ダムによる土砂災害対策などの連携 ⑥カメラや水位計等の防災情報の提供体制の強化 ⑦講習会や授業など防災意識の普及、啓発  
⑧水防団等による体制強化 ⑨県、市、住民等の関係者間の連携強化 ⑩現状のままで満足している  
⑪その他( )
- 質問 13-3** 「瀬野川水系の川づくりについてのアンケート」の裏面に記載の“治水”の内容について、どう感じますか(1つ選択)
- ①たいへん満足である ②どちらかといえば満足である ③どちらでもない  
④どちらかといえば不満である ⑤たいへん不満である

## 利水、河川環境について感じていること

- 質問 14-1** 現在、「瀬野川水系」の水利用についてどのように感じていますか(複数選択可)
- ①きれいな水が流れている ②農業などに利用できる  
③濁水が起きていない ④利用環境がよくない(理由 )  
⑤とくに何も感じない  
⑥その他( )
- 質問 14-2** 現在、「瀬野川水系」の河川環境についてどのように感じていますか(複数選択可)
- ①色々な動物が生育・生息する川 ②水辺で休息・散策ができ、遊べる川  
③きれいな水が流れている川 ④河川環境がよくない川(理由 )  
⑤とくに何も感じない  
⑥その他( )
- 質問 14-3** 今後、「瀬野川水系」の水利用、河川環境に対して特に何を期待しますか(複数選択可)
- ①色々な動物が生育・生息する川 ②水辺で休息・散策ができ、遊べる川  
③手を加えない自然のままの川 ④きれいな水が流れている川  
⑤農業などに利用できる川 ⑥濁水が起きない川  
⑦現状のままで満足している  
⑧その他( )
- 質問 14-4** 「瀬野川水系の川づくりについてのアンケート」の裏面に記載の“利水”、“河川環境”の内容について、どう感じますか(1つ選択)
- ①たいへん満足である ②どちらかといえば満足である ③どちらでもない  
④どちらかといえば不満である (利水・河川環境) ※③の選択された方: 不満のある内容を○で囲んでください  
⑤たいへん不満である (利水・河川環境) ※③の選択された方: 不満のある内容を○で囲んでください

## おまて面

- 質問 6** 「身近な川」に訪れるのはどの程度ですか(1つ選択)
- ①ほぼ毎日 ②週に2～3回 ③週に1回程度 ④月に2～3回  
⑤年に数回 ⑥行ったことがない
- 質問 7** 「身近な川」を訪れる主な目的は何ですか(複数選択可)
- ①徒歩による通過 ②自転車・車による通過 ③散歩・ジョギング ④水遊び  
⑤魚釣り ⑥キャンプ・ピクニック ⑦スポーツ ⑧地域の催し  
⑨草刈り ⑩その他( ) ⑪とくにない

## 水害に対する防災意識(平成30年7月豪雨、平成16年9月高潮、平成11年9月高潮、平成3年9月高潮)

- 質問 8** あなたは、近年水害時に避難しましたか(1つ選択)
- 「①はい」を選択された方は、水害を○で囲んで、避難先を選択してください
- ①はい(平成30年7月豪雨・平成16年9月高潮・平成11年9月高潮・平成3年9月高潮)  
(避難先: 避難所 ・ 友人宅 ・ 自宅(2階以上) ) ⇒ 質問9へ  
②いいえ ⇒ 質問10へ  
③わからない ⇒ 質問11へ
- 質問 9** 質問8で「①はい」(避難した)理由をお聞かせください(複数選択可)
- ①過去に浸水被害に遭っているから ②テレビ・ラジオの報道を聞いたから  
③インターネット(パソコン・携帯電話・スマートフォン)でニュースや避難情報を見たから  
④テレビ・ラジオ、インターネット、広島市・海田町からの避難情報を見たから  
⑤広島市・海田町からの避難情報を聞いたから ⑥親類・近隣住民等に言われたから  
⑦なんとなく ⑧その他( )
- 質問 10** 質問8で「②いいえ」(避難しなかった)理由をお聞かせください(複数選択可)
- ①過去に浸水被害に遭っていないから ②安全だと思ったから  
③避難しようとした際には、既に避難できない状況になっていたから  
④テレビ・ラジオ、インターネット、広島市・海田町からの避難情報を見なかったから  
⑤避難場所がわからないから ⑥なんとなく ⑦その他( )

## 防災情報の入手手段

- 質問 11** 災害時にあなたが防災情報の収集を行う際に、最も利用するのは何ですか(1つ選択)
- ①テレビ・ラジオ ②インターネット(パソコン・携帯電話・スマートフォン)  
③市町の防災無線・広報車 ④奥田の人から聞く ⑤その他( )
- 質問 12** 普段防災に関する知識を、あなたはどのように入手していますか(複数選択可)
- ①テレビ・ラジオ ②新聞・雑誌 ③学校での教育 ④インターネット  
⑤自治体などのパンフレット ⑥自治体やNPOなどによる講演会 ⑦自治会など地域の集會  
⑧その他( )
- ★「うら面」へお進みください

## うら面

## 維持管理について感じていること

- 質問 15** 平常時の川との関わり方に関する考え方に、最も近いものを選んでください(1つ選択)
- ①地域住民が積極的にボランティア活動を行い、行政に代わり主体的に地域の川の維持管理を行う  
②地域住民と行政が連携して、役割を決めながら維持管理を行う  
③基本的には行政主導で、希望する地域住民に声かけや支援を行いながら維持管理を行う  
④行政が全て維持管理を行う ⑤わからない  
⑥その他( )

## 今後の本水系の河川整備の優先度について

- 質問 16** 今後の瀬野川水系の河川整備は、こういった点を優先的に実施してほしいと思えますか(1つ選択)
- ①河川改修等ハード面での治水対策 ②防災情報の充実や防災意識の普及等ソフト面での治水対策  
③農業など水の利用に関する整備 ④水質をよくする整備  
⑤自然環境の保全、再生に関する整備 ⑥運動やイベント等水辺で活動できる空間の整備  
⑦その他( )

## 瀬野川の河川整備計画に関するご意見など、ご自由にお書きください

(ご意見が「どのような項目に該当するか」を選択(○)を記入した上で、記入してください)(記入欄)

項目 : 治水 ・ 利水 ・ 河川環境 ・ 維持管理 ・ その他

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。  
誠に勝手ではございますが、アンケートの回答期間は以下のとおりとさせていただきます。

**12月7日(水)までにポストに投函してください**

※アンケートの回答は、同封の『返信用封筒』にてご返信ください。

**問い合わせ先**

【アンケート実施者】 広島県 西部建設事務所 担当:久保、見録 TEL:082-250-8160  
【アンケート委託業者】 中電技術コンサルタント株式会社 河川本部河川砂防部 担当:佐藤、浜田 TEL:082-256-3348

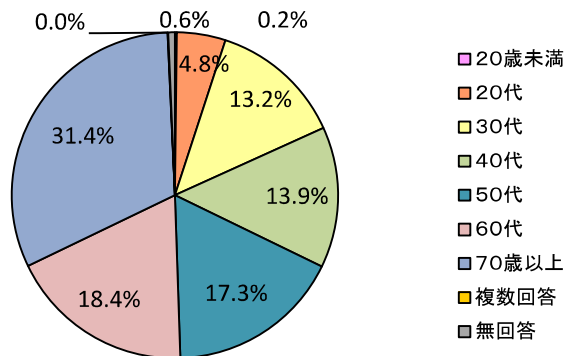
### 3. アンケート調査結果(単純集計)

#### 3.1 基本属性

##### 質問 1. 年齢を教えてください

年齢構成で最も多いのは「70歳以上」であり、続いて「60代」、「50代」の割合が高く、50歳以上の回答者が全体の約70%と高い割合を占める。

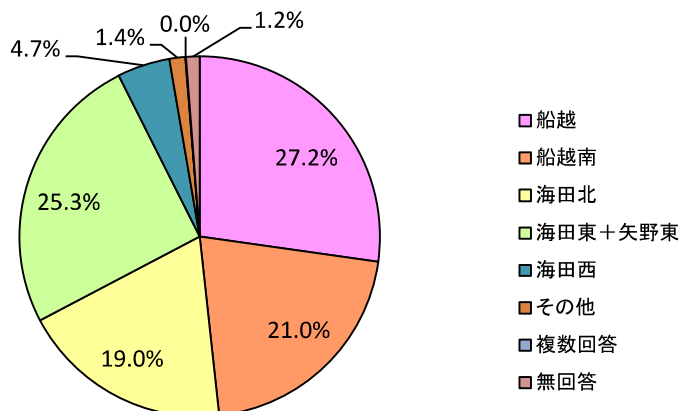
回答数 2030



##### 質問 2. お住まいの地域を教えてください

配布地域外を回答された方はわずか1.4%であった。

回答数 2030

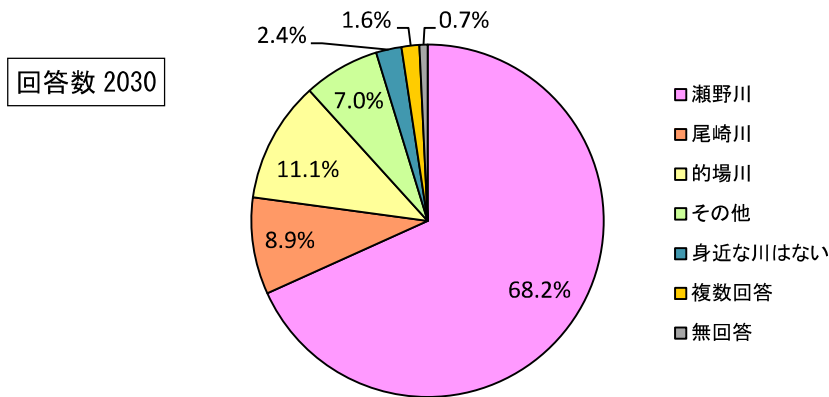


### 質問3. 「最も身近な川」はどれですか

身近に感じる河川としては、瀬野川が約70%を占めている。

次いで「的場川」(11.1%)、「尾崎川」(8.9%)が多い状況であった。

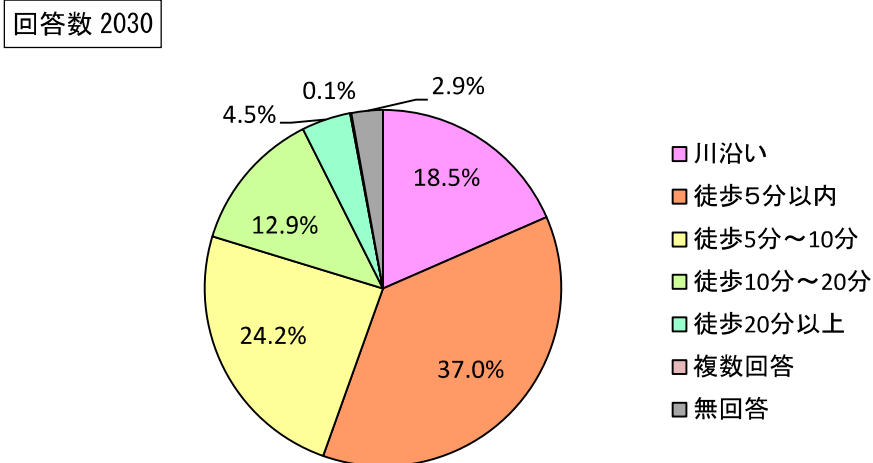
後述のクロス集計は、瀬野川、尾崎川、的場川、その他河川の4区分で実施する。



### 質問4. 現在お住まいの場所は、「身近な川」から徒歩で何分かかりますか

川から「徒歩5分以内」と回答した人が最も多く約40%を占めている。次いで、「川沿い」の割合が高く、川沿いおよび5分以内の回答者が全体の約60%と高い割合を占めている。

河川周辺にお住まいの方の回答が多いことがわかる。

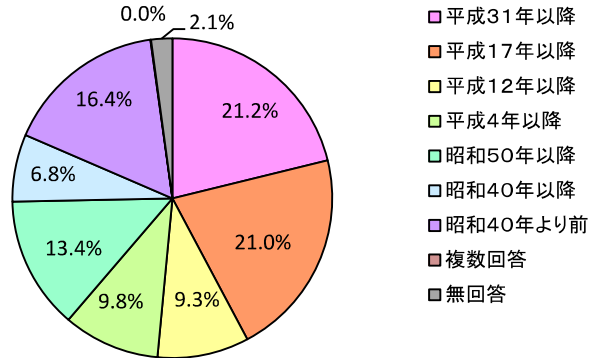




質問5-1. いつから現在の場所にお住まいですか

比較的高い割合を占めているのは、「平成31年以降」(21.2%)、「平成17年以降」(21.0%)、「昭和40年より前」(16.4%)となっている。

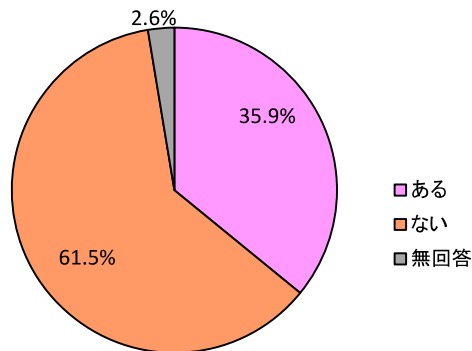
回答数 2030



質問5-2. 水害を経験したことがありますか

水害を経験したことの無い方が約60%であり、約半数以上の方は、災害を経験していないことがわかる。

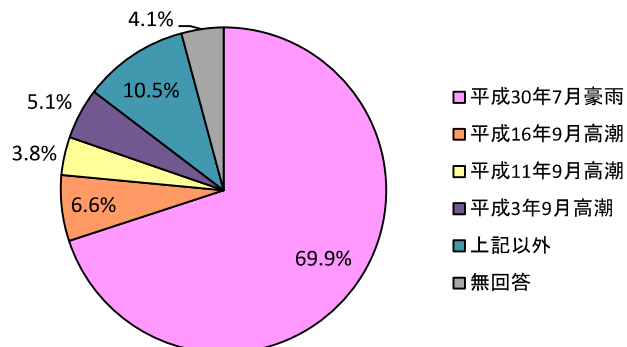
回答数 2030



(参考) 質問5-2で「①ある」(水害経験あり)方の中で、被災した水害について分析した。

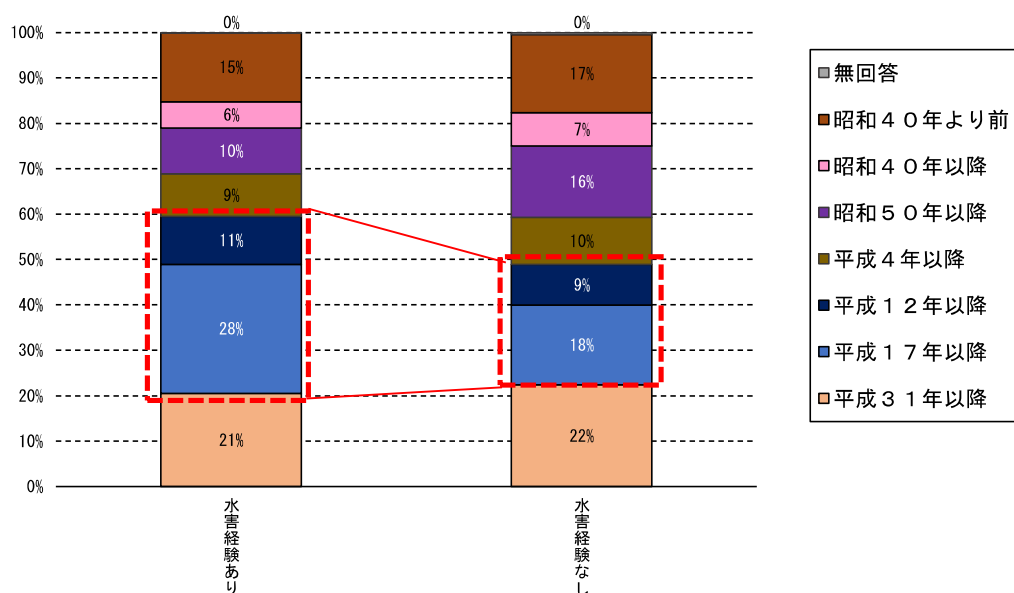
水害経験ありの方のうち、被害を受けた水害として最も多くを占めたのは「平成30年7月豪雨」の約70%であり、質問8で近年水害時に避難した方の被災した水害と同様の結果となった。

回答数 868  
(複数回答)



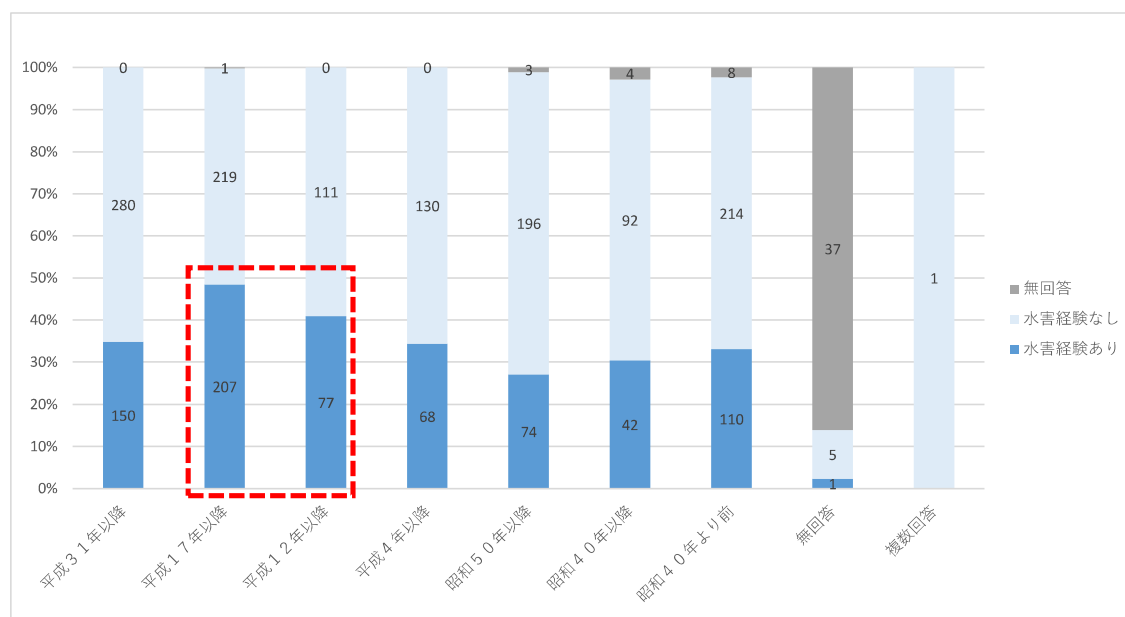
(参考) 「質問 5-2 水害経験の有無」と「質問 5-1」のクロス集計を行い分析した。

水害経験ありと水害なしで比較すると、「平成 17 年以降」、「平成 12 年以降」の居住開始年の人に水害経験ありの人の割合が高い。



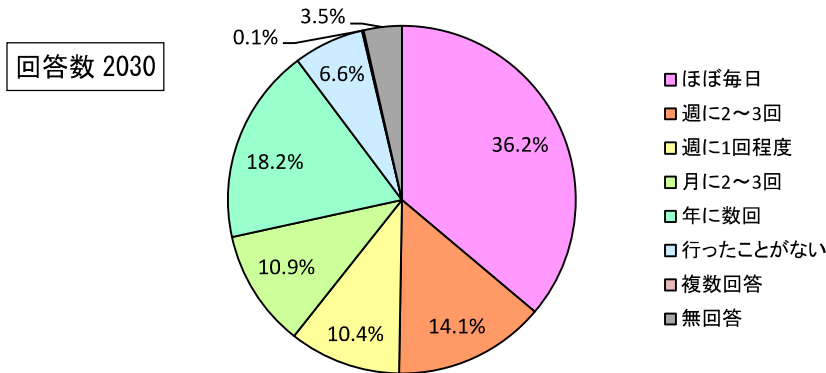
(参考) 「質問 5-2 経験された水害」と「質問 5-1」のクロス集計を行い分析した。

居住開始年別に水害危険有無を見ると全体的に 30%程度の方が水害経験ありであるが、「平成 17 年以降」、「平成 12 年以降」の在住年の人に水害経験ありの人の割合が高い。



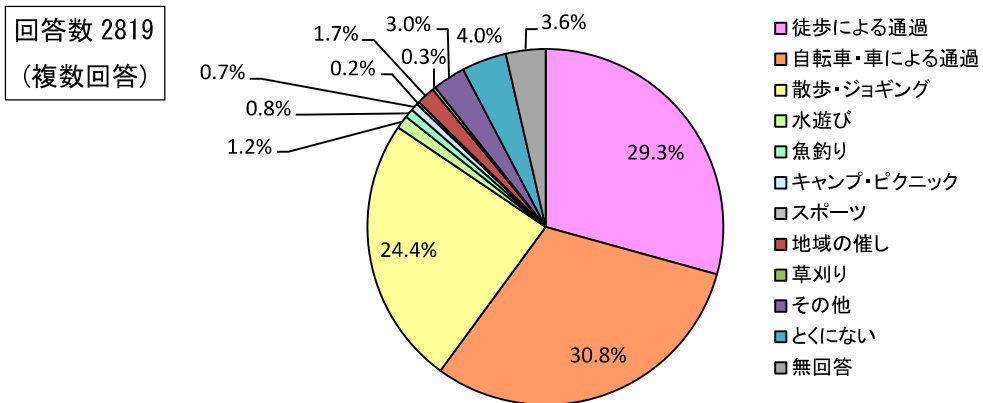
質問6. 「身近な川」を訪れるのはどの程度ですか

「身近な川」を訪れる頻度は、「ほぼ毎日」が約40%を占めている。一方で、年に数回以下が約20%程度であり、河川とつながりの深い地域であることがわかる。



質問7. 「身近な川」を訪れる主な目的は何ですか

「身近な川」を訪れる主な目的としては、徒歩や自転車・車による通過が約60%を占めている。次いで、「散歩・ジョギング」(24.4%)が多い。



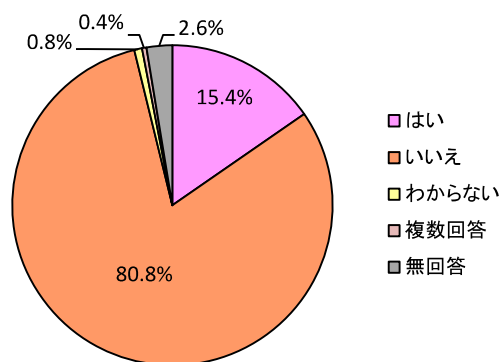
3.3 洪水に対する防災意識（平成30年7月洪水，平成16年9月高潮，平成11年9月高潮，平成3年9月高潮）

質問8. あなたは，近年水害時に避難しましたか

※「①はい」を選択された方は，避難先を選択してください

避難の有無は，「②いいえ」との回答が約80%を占め，「①はい」と答えた人の割合(15.4%)を大きく上回っている。

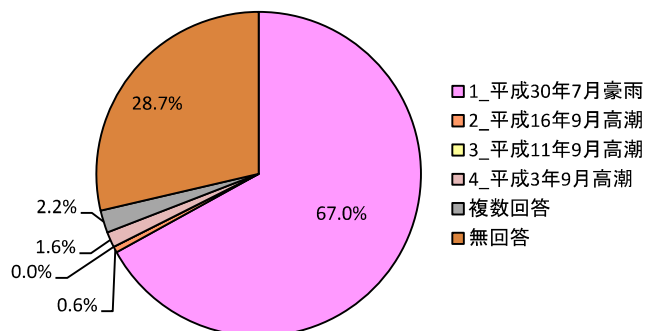
回答数 2030



(参考) 質問8で「①はい」(避難した)方の中で，被害を受けた水害について分析した。

避難した方のうち，被害を受けた水害として最も多くを占めたのは「平成30年7月豪雨」の67.0%であった。(全体の回答者数の約11%) なお，平成11年9月高潮は0票であった。

回答数 321

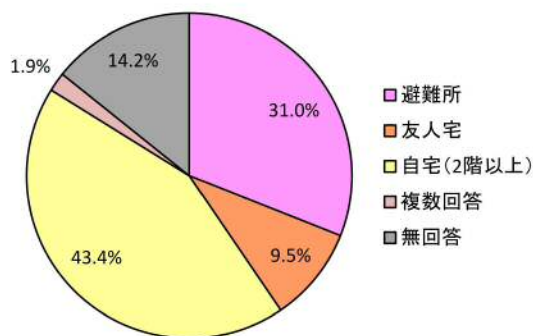


(参考) 質問8で「①はい」(避難した)方の中で、避難場所について分析した。

避難した方のうち、43.4%が自宅(2階以上)の避難(垂直避難)を実施されている。(全体の回答者数の約7%)

避難所へ避難した方は、避難した方の31.0%を占めている。(全体の回答者数の約5%)

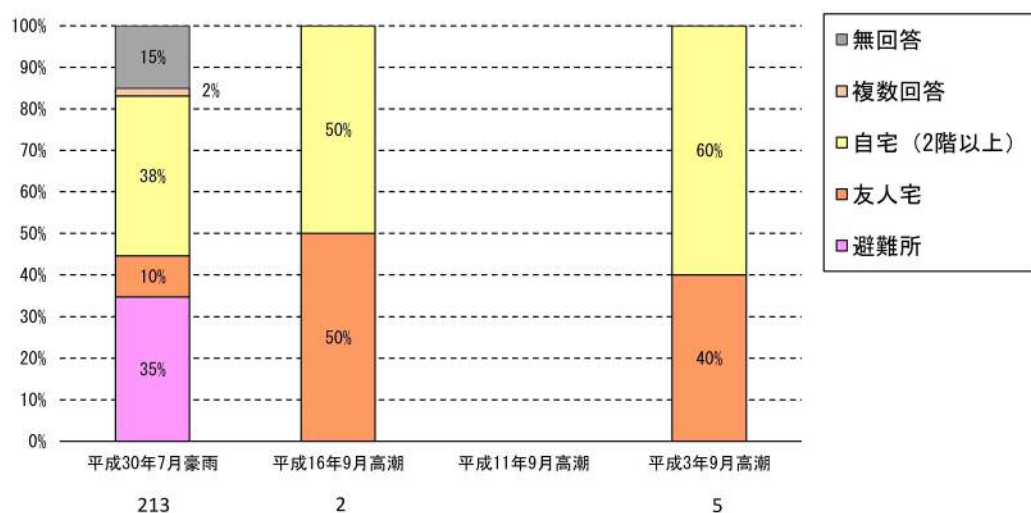
回答数 316



(参考) 「質問8 避難した近年水害」と「質問8 避難場所」のクロス集計を行い分析した。

近年水害別に避難先を整理した。避難した人の大半が平成30年7月豪雨時と回答しており、その避難先は(上記の結果と同様に)「自宅(2階以上)」「避難所」の順となった。高潮時の回答者は7人いたものの、避難先は「自宅(2階以上)」「友人宅」で「避難所」とした回答は見られなかった。

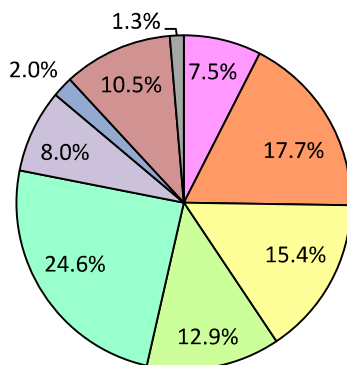
平成30年7月洪水は、甚大な被害が発生した洪水であり、避難行動のあり方について、河川管理者、自治体、地域住民が一体となった取り組みが必要である。



質問 9. 質問 8 で「①はい」(避難した)理由(動機)をお聞かせください

避難された方の避難理由は「広島市・海田町からの避難情報を聞いたから」が 24.6%と、最も割合を占めており、次いで、「テレビ・ラジオの報道を聞いたから」(17.7%)が多くなっている。

回答数 598  
(複数回答)

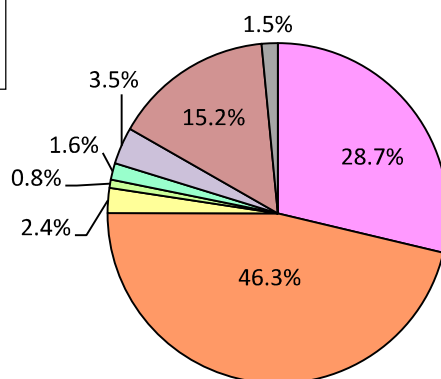


- 過去に洪水被害に遭っているから
- テレビ・ラジオの報道を聞いたから
- インターネット(パソコン・携帯電話・スマートフォン)でニュースや避難情報を見たから
- リアルタイム情報(河川水位、カメラ映像等)を見たから
- 広島市・海田町からの避難情報を聞いたから
- 親類・近隣住民等に言われたから
- なんとなく
- その他
- 無回答

質問 10. 質問 8 で「②いいえ」(避難しなかった)理由(動機)をお聞かせください

避難しなかった理由は「安全だと思ったから」(46.3%)が最も割合を占めている。次いで、「過去に洪水被害に遭っていないから」(28.7%)が多くなっている。

回答数 1977  
(複数回答)

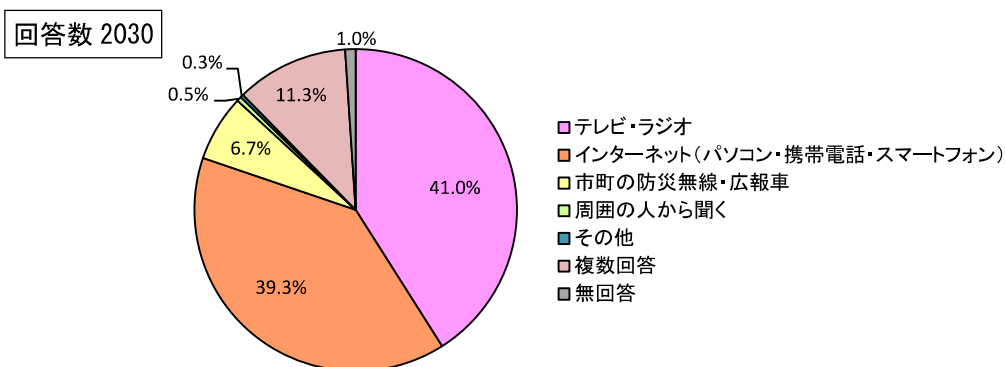


- 過去に洪水被害に遭っていないから
- 安全だと思ったから
- 避難しようとした際には、既に避難できない状況になっていたから
- テレビ・ラジオ、インターネット、竹原市からの避難情報を知らなかったから
- 避難場所がわからないから
- なんとなく
- その他
- 無回答

### 3.4 防災情報の入手手段

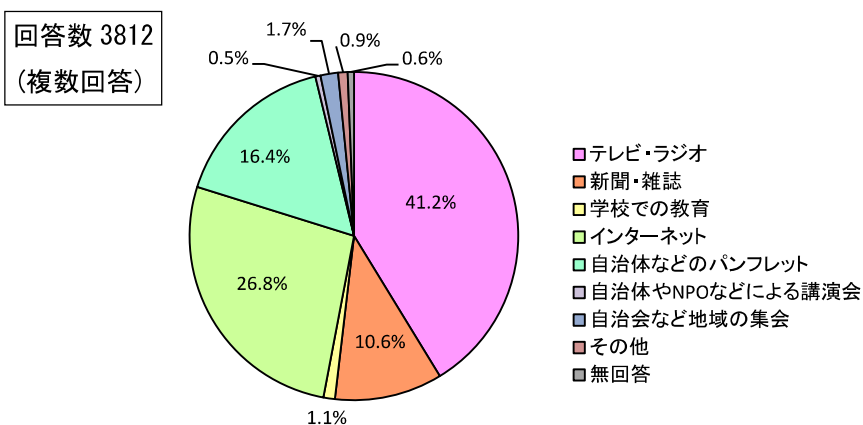
#### 質問 1 1. 災害時にあなたが防災情報の収集を行う際に、最も利用するものは何ですか

防災情報の収集を行う際に、最も利用するものとしては「テレビ・ラジオ」(41.0%)，次いで、「インターネット(パソコン・携帯電話・スマートフォン)」(39.3%)が割合を占めている。



#### 質問 1 2. 平常時に防災に関する知識を、あなたはどのように入手していますか

防災に関する知識の入手方法は、「テレビ・ラジオ」が最も多く、約 40%を占めている。次いで、「インターネット」(26.8%)，「自治体などのパンフレット」(16.4%)となっている。



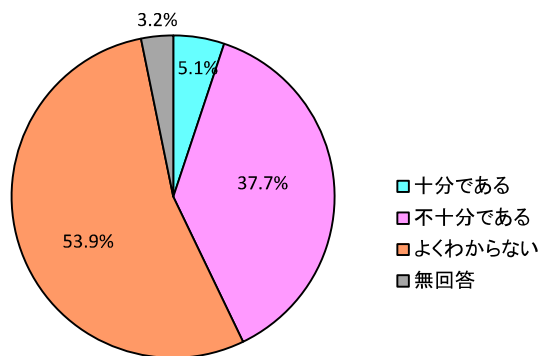
### 3.5 治水について感じていること

#### 質問 13-1. 現在の「瀬野川水系」の高潮対応状況について、どのように感じていますか

治水に対し感じていることとして、「十分である」と回答される方が約 5%と選択肢の中では最も少なく、「不十分である」と回答した方（37.7%）を大きく下回った。

「よくわからない」と回答される方が約 50%と選択肢の中では最も多かった。

回答数 2030

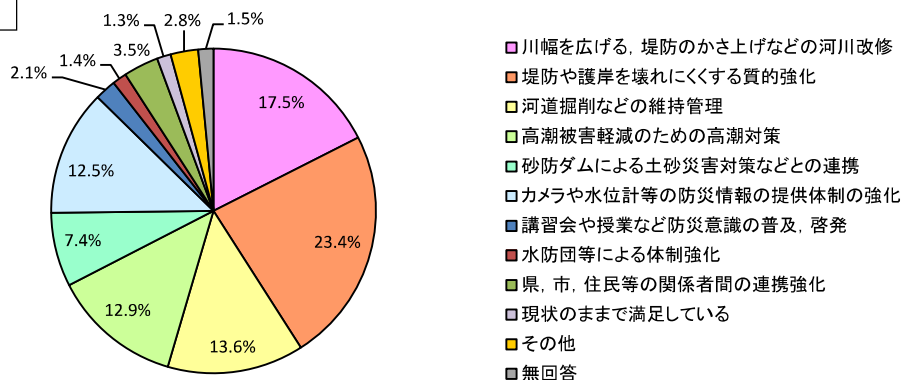


#### 質問 13-2. 今後、「瀬野川水系」の災害対策について、特に必要なものは何だと思いますか

今後、治水に対して特に必要なものとしては「堤防や護岸を壊れにくくする質的強化」（23.4%）が最も多く、次いで「川幅を広げる、堤防のかさ上げなどの河川改修」（17.5%）となっている。

「堤防や護岸を壊れにくくする質的強化」及び「川幅を広げる、堤防のかさ上げなどの河川改修」のハード整備に対しては、平成 30 年 7 月洪水において、流下能力不足や護岸崩壊を経験されており、浸水被害軽減への対応を期待しているものと推測される。

回答数 4397  
(複数回答)

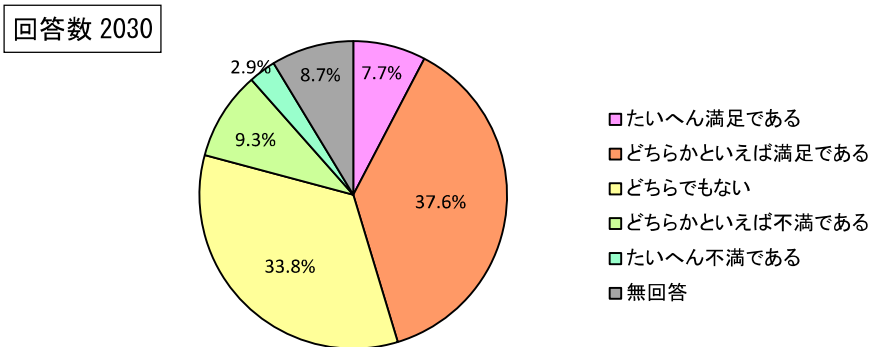




質問13-3. 「瀬野川水系の川づくりについてのアンケート」の裏面に記載の“治水”の内容について、どう思いますか

河川整備計画(素案)の概要に記載している治水の内容については、「満足」と回答される方が約45%を占め、「不満」と回答される方が約12%となっている。

河川整備計画(素案)に記載された治水整備(高潮対策)への賛同と考えられる。

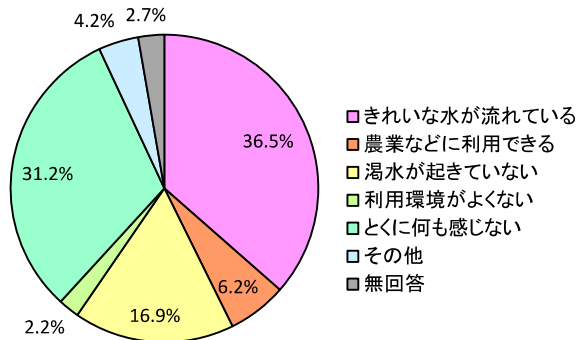


### 3.6 利水、河川環境について感じていること

#### 質問 14-1. 現在、「瀬野川水系」の水利用についてどのように感じていますか

水利用に対し感じていることとして、「きれいな水が流れている」と回答される方が 36.5%と選択肢の中では最も多かった。

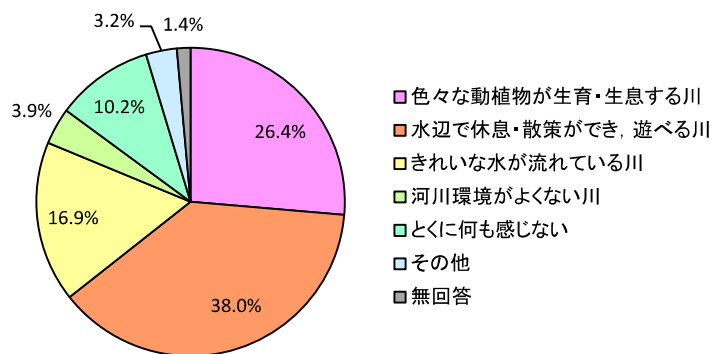
回答数 2375  
(複数回答)



#### 質問 14-2. 現在、「瀬野川水系」の河川環境についてどのように感じていますか

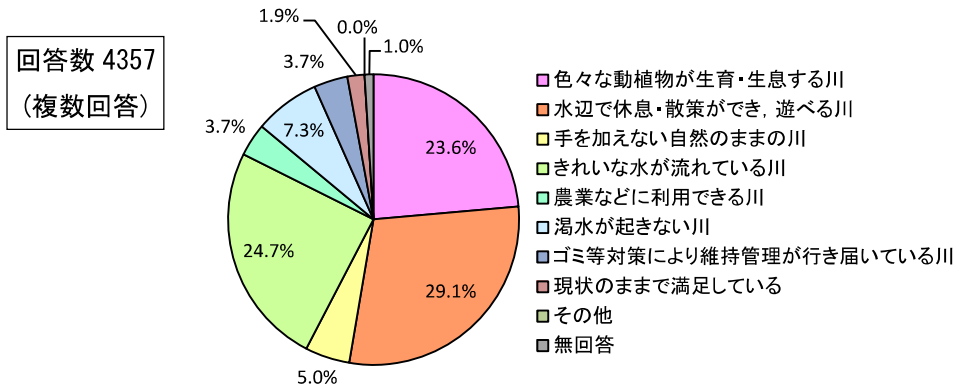
河川環境に対し感じていることとして、「水辺で休息・散策ができ、遊べる川」と回答される方が 38.0%と選択肢の中では最も多く、瀬野川に対する河川利用への思いが強く感じられる。次いで「色々な動植物が生育・生息する川」と回答される方が 26.4%となっており、河川毎の違いを見るためクロス集計を行った。

回答数 3146  
(複数回答)



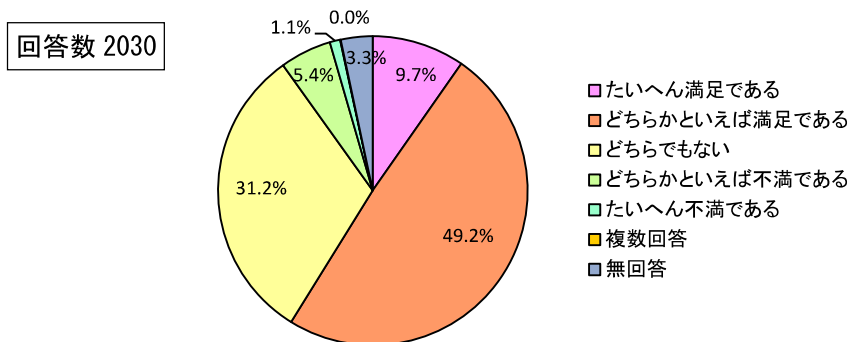
質問 1 4 - 3. 今後、「瀬野川」の水利用，河川環境に対して特に何を期待しますか

今後，水利用，河川環境に対して特に期待するものとしては「水辺で休息・散策ができ，遊べる川」が約 30%と最も多く，次いで「きれいな水が流れている川」（約 25%），「色々な動植物が生育・生息する川」（約 24%）となっている。



質問 1 4 - 4. 「瀬野川水系の川づくりについてのアンケート」の裏面に記載の“利水”，“河川環境”の内容について，どう思いますか

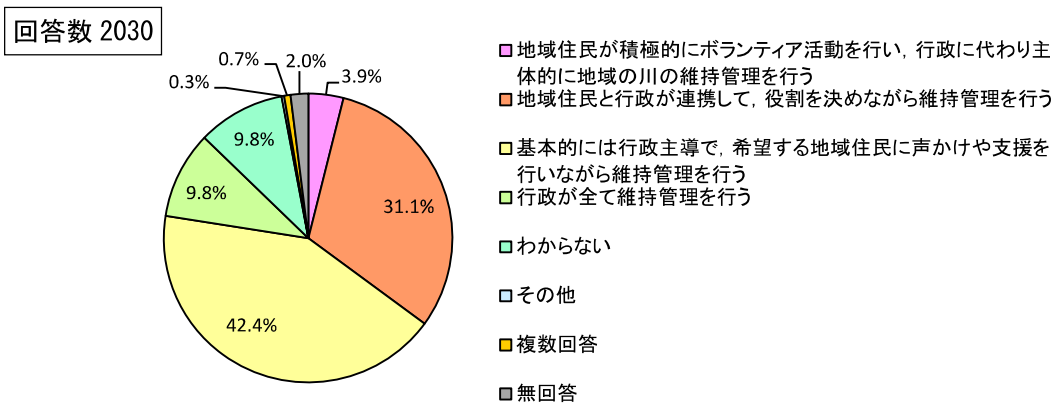
河川整備計画(素案)の概要に記載している利水の内容並びに河川環境の内容については，「満足」と回答される方が約 60%を占め，「不満」と回答される方が約 6%となっており，治水による満足度と比較すると，利水・河川環境に対するやや満足度が高く，治水への要望が大きいことがわかる。



### 3.7 維持管理について感じていること

質問 15. 平常時の川との関わり方に関する考え方に、最も近いものを選んでください

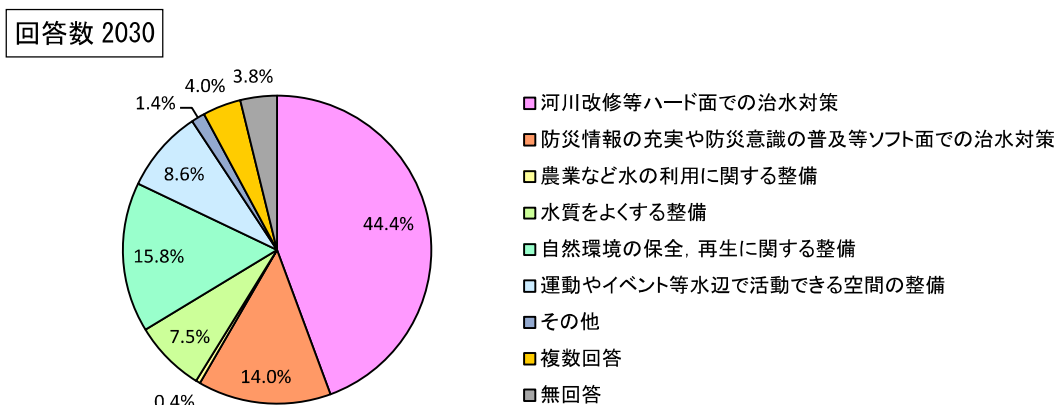
平常時の関わりに関しては、「基本的には行政主導で実施する河川の維持管理」と回答されている方が、約 42%を占めている。なお、「行政がすべて維持管理を行う」と回答された方は、約 10%であり、「地域住民と行政が連携して維持管理を行う」（約 31%）と回答された方よりも少ない傾向であった。



### 3.8 今後の瀬野川水系の河川整備の優先度について

質問 16. 今後の瀬野川の河川整備は、こういった点を優先的に実施してほしいと思いますか

河川整備の優先度については、「河川改修等ハード面での治水対策」と回答されている方が、約 44%を占めており、「ソフト面での治水対策」（14.0%）と合計すると約 60%の優先度が治水対策となっている。次点で「自然環境の保全、再生に関する整備」は約 16%となっており、自然環境に対する期待も高いことが分かる。



### 3.9 その他（自由意見）

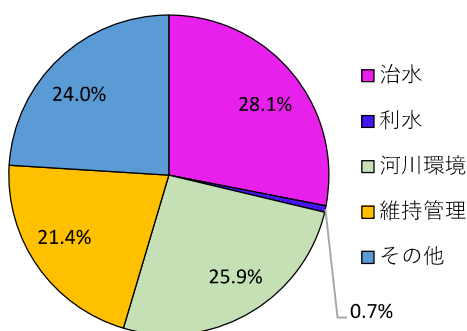
#### 質問 17. 瀬野川水系の河川整備計画に関するご意見など、ご自由にお書きください

アンケートの回答者数 2,030 に対し、755 名の方々がご回答いただいている。

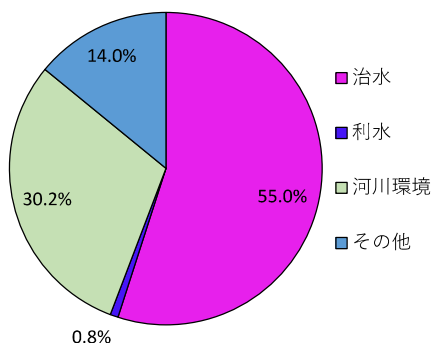
自由意見を踏まえ、河川整備計画の大項目である「治水」、「利水」、「河川環境」、「維持管理」に分類し、該当しないご意見・ご要望を「その他」とした。

#### 【自由意見の特徴】

- 自由意見に関しては、治水、河川環境、維持管理、その他が 21～28% 程度となっている。
- 維持管理とその他を「治水、利水、河川環境」に再分類した結果、約 55% が治水に関するご意見・ご要望、次いで約 30% が河川環境に関する意見・ご要望となっており、平成 30 年 7 月豪雨への対応に加えて河川環境への両立が挙げられている。
- 自由意見をさらに中分類、小分類と分割した場合、合計 762 のご意見、ご要望をいただいております、代表的なご意見を踏まえ「河川整備計画」への反映の必要性を確認した。



自由意見の分類割合



【参考】治水・利水・河川環境の分類

大分類	中分類	小分類	人数	備考
治水	全般	安全安心な川づくり	83	治水
		整備方法	27	
		流域治水	10	
	河道	洪水	25	
		高潮対策	49	
		情報提供	15	
ソフト対策	避難行動	5		
利水	全般	水量確保	5	利水
河川環境	全般	整備と保全	51	河川環境
		動植物	41	
		水質	10	
	河川利用	かわまち・公園整備	18	
		河川景観	5	
		散策・サイクリング	31	
		親水対策	41	
維持	治水	河床堆積・樹木	122	治水
	河川環境	護岸	10	河川環境
その他	全般	災害復旧	5	治水
		行政への意見	21	その他
		アンケート	13	
		まちづくり（駐車場・トイレ・街灯整備）	12	
		道路・鉄道	22	
		農業利用	1	
	治水	その他	39	
		尾崎川	27	治水
		小河川	10	
		内水対策	8	
		河川環境	その他	
維持管理	尾崎川・矢野川	21	治水	
	小河川	2		
合計			762	

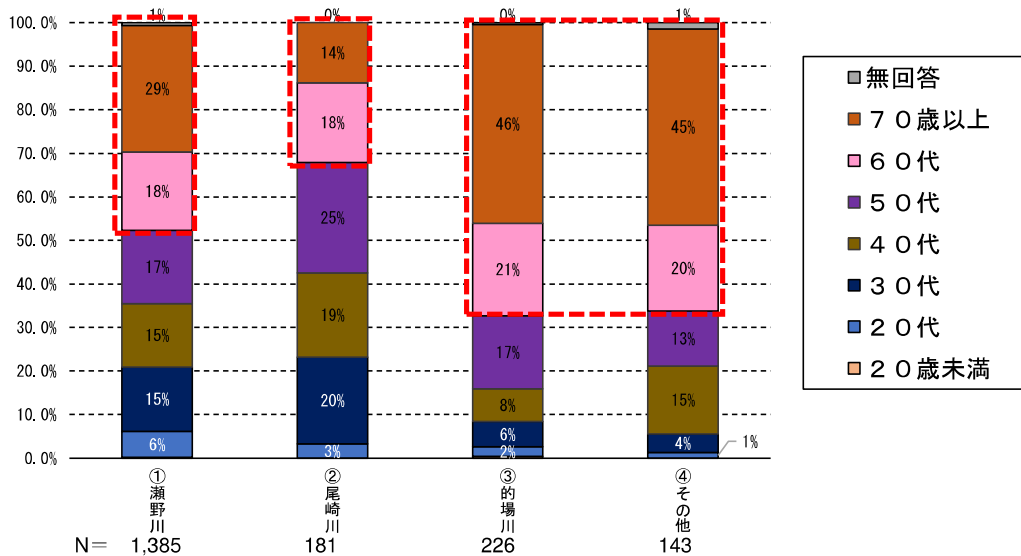
## 4. アンケート調査結果(クロス集計)：河川別

身近な河川(質問3)で瀬野川、尾崎川、的場川、その他河川の4河川と回答された方の設問ごとの意見をクロス集計し、河川毎の特性について、分析を行った。

### 4.1 基本属性

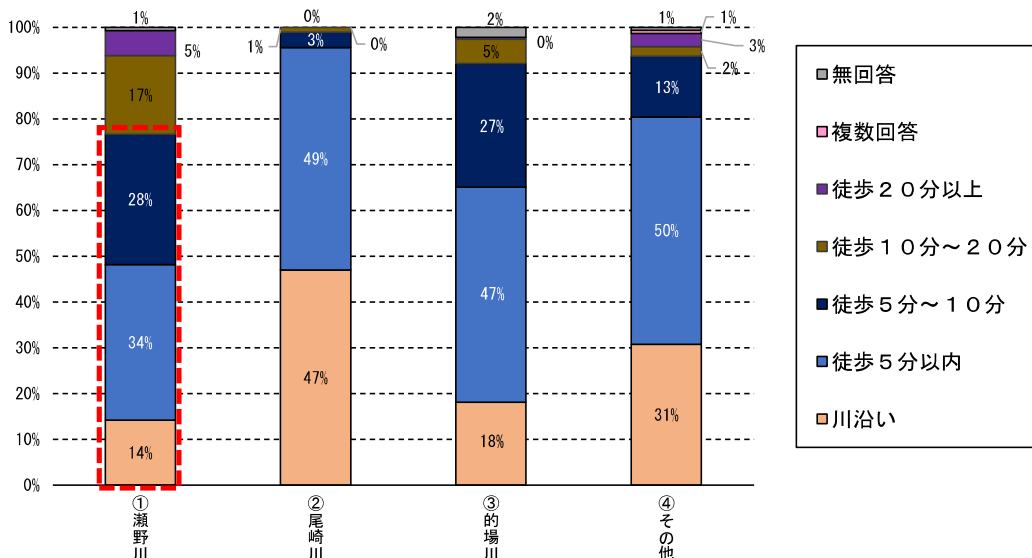
#### 質問1. 年齢を教えてください

的場川・その他河川では60歳以上が70%程度を占めているが、瀬野川で40%程度、尾崎川では30%程度となっており、尾崎川では比較的若い人の占める割合が高い。



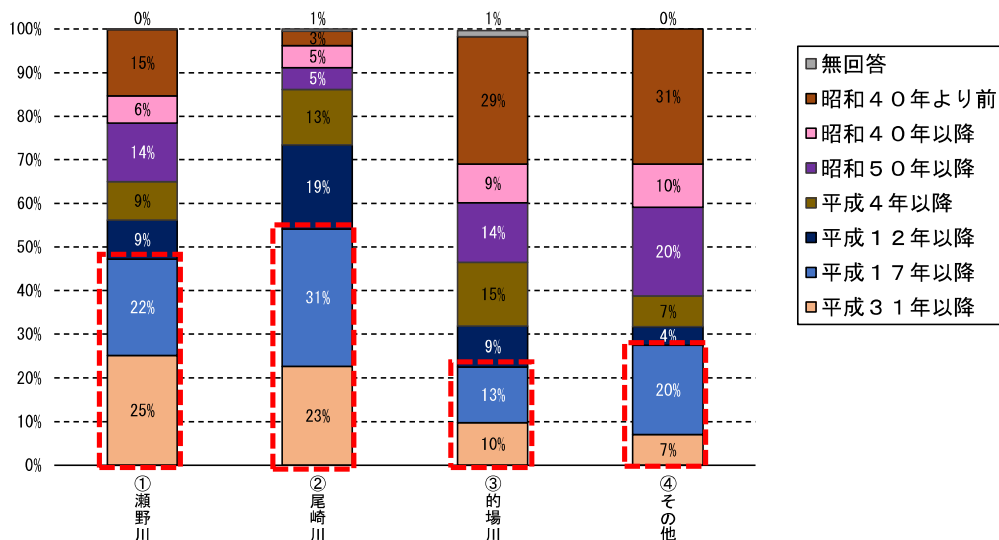
#### 質問4. 現在お住まいの場所は、「身近な川」から徒歩で何分かかりますか

河川に近い方(徒歩10分以内)に着目すると、全体的に約90%以上と割合が高く、瀬野川のみ80%未満となっている。



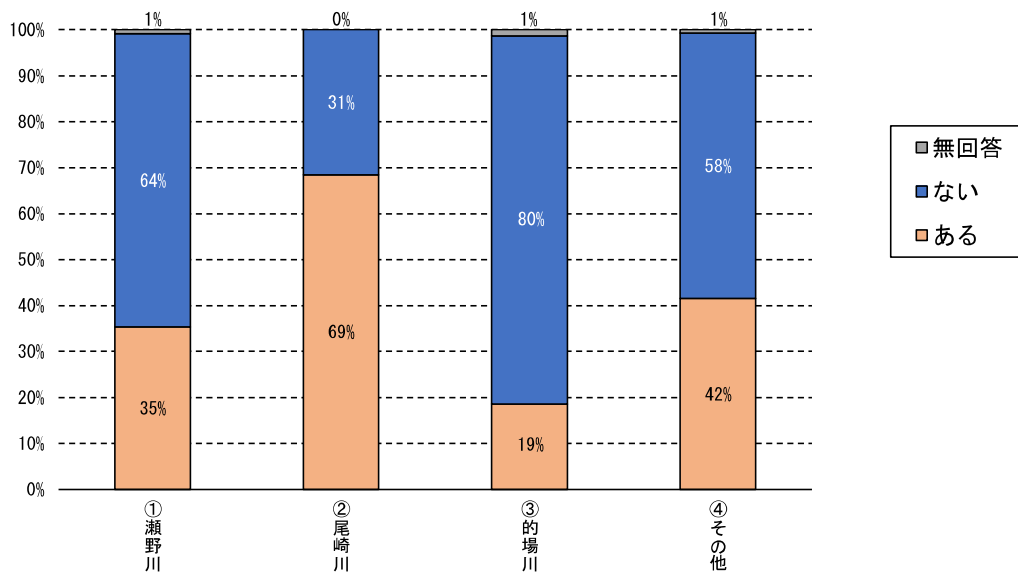
質問 5 - 1. いつから現在の場所にお住まいですか

平成 17 年以降からお住まいの方に注目すると、瀬野川、尾崎川に関しては約 50%を占めるが、的場川およびその他河川では約 30%と割合に変化がみられる。



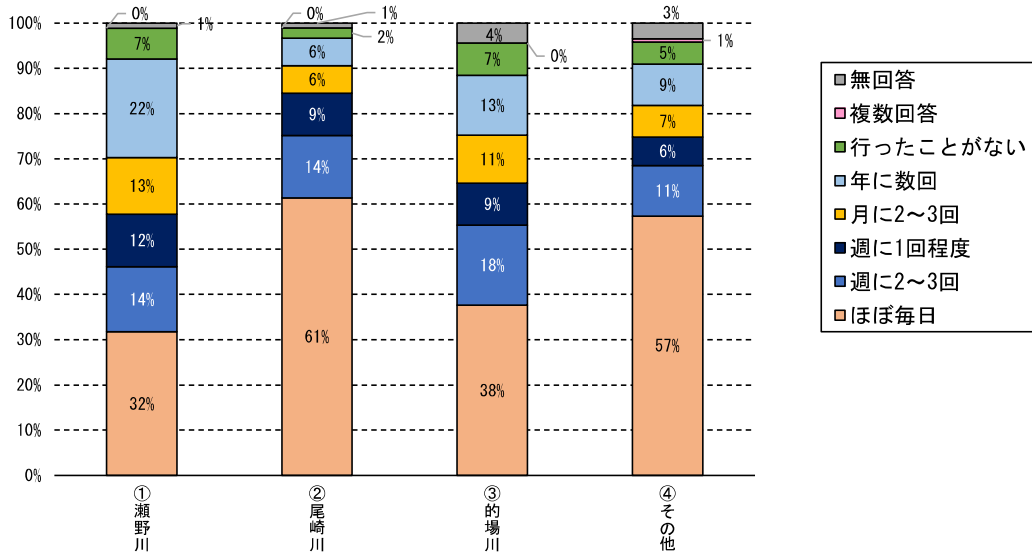
質問 5 - 2 水害を経験したことがありますか

瀬野川では 35%，的場川では 19%程度であるが、尾崎川では約 70%の人が水害を経験したことがあり、他河川よりも多い。



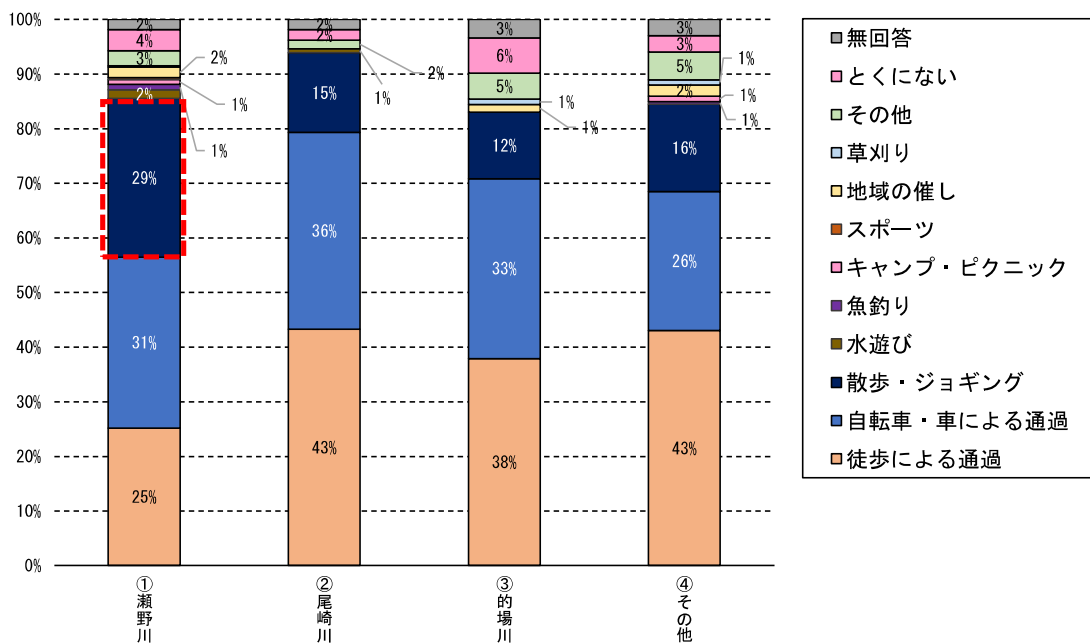
質問6. 「身近な川」を訪れるのはどの程度ですか

「身近な川」を訪れる頻度について、ほぼ毎日と答えた方が特に尾崎川、その他河川に多く約60%であった。



質問7. 「身近な川」を訪れる主な目的は何ですか

「身近な川」を訪れる目的については、全体的に徒歩や自転車・車による通過が多い傾向がある。瀬野川では散歩・ジョギングによる目的が29%と他河川よりやや多い傾向となっている。

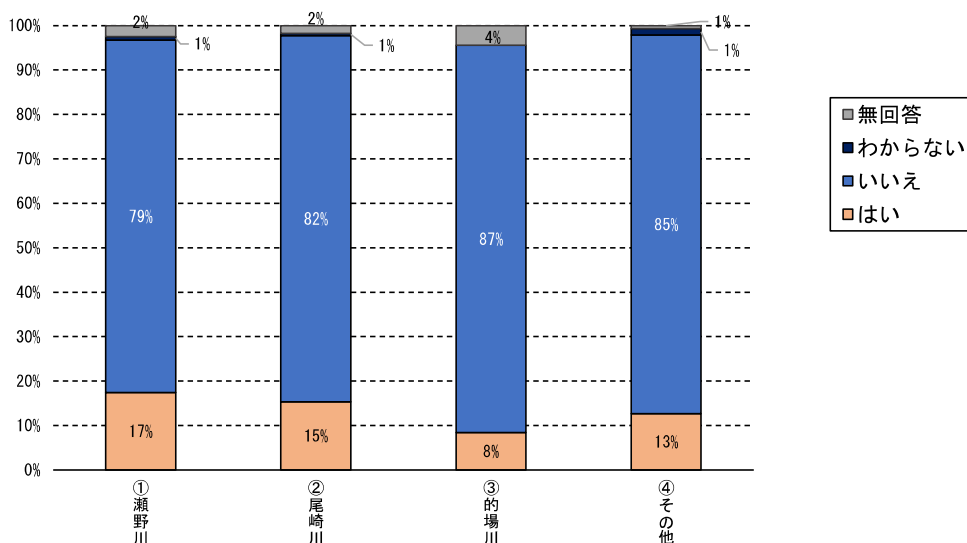




## 4.2 洪水に対する防災意識（平成30年7月洪水，平成16年9月高潮，平成11年9月高潮，平成3年9月高潮）

### 質問8. あなたは，近年水害時に避難しましたか

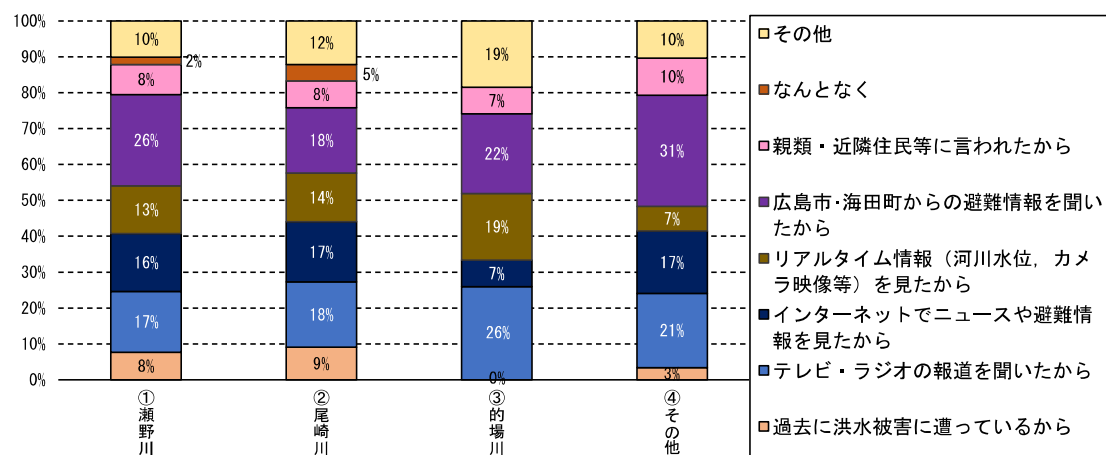
避難した割合は全体的に大きな差はなく，各河川で約1割～2割の人が近年水害時に避難している。的場川のみ8%と，1割を切っている。避難した動機についても，割合を分析する必要がある。



### 質問9. 質問8で「①はい」（避難した）理由（動機）をお聞かせください

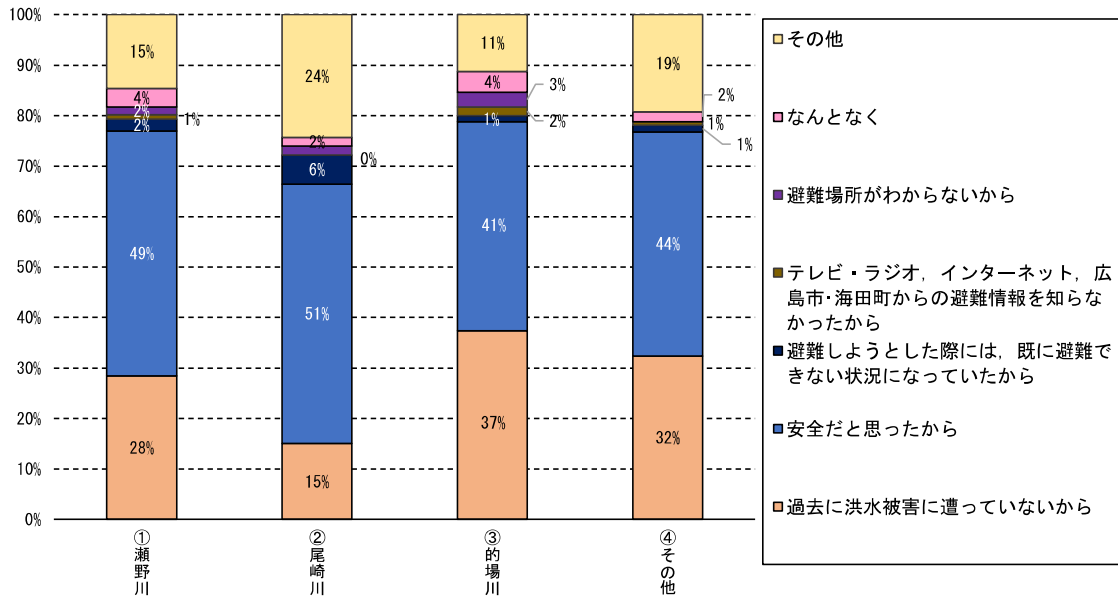
避難した理由として主に割合を占めているのは，「テレビ・ラジオの報道」や「インターネット」，「リアルタイム情報」，「広島市・海田町からの避難情報を聞いたから」となっている。

「過去に洪水被害に遭っているから」の回答が0%の的場川は，質問8において，近年水害時に避難した人の割合が他河川より少なかった。



質問 10. 質問 8 で「②いいえ」(避難しなかった)理由(動機)をお聞かせください

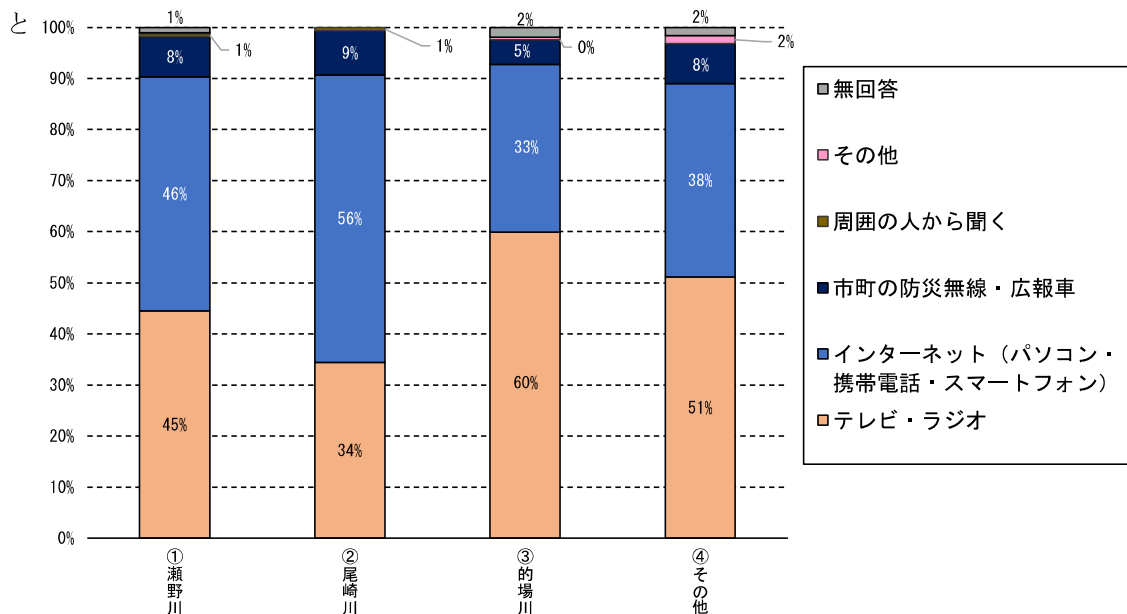
どの河川も主な理由として、「安全だと思ったから」、「過去に洪水被害に遭っていないから」と答える割合が大きかった。また、質問 8 において、近年水害時に避難した人の割合が他河川より少なかった河川は「過去に洪水被害に遭っていないから」の回答が約 4 割と一番多かった。



4.3 防災情報の入手手段

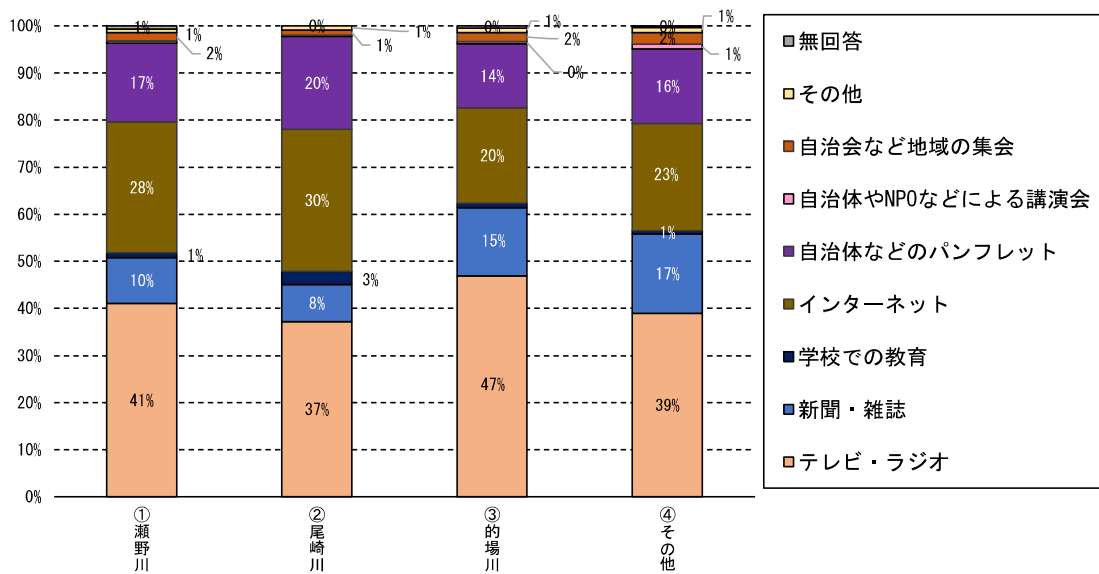
質問 11 災害時にあなたが防災情報の収集を行う際に、最も利用するものは何ですか

防災情報の収集については、瀬野川・的場川・その他の河川では、「テレビ・ラジオ」から収集している方が 50%であるが、尾崎川では「テレビ・ラジオ」よりも「インターネット」による収集が 56%と高くなっている。各河川共に、「市町の防災無線・広報車」の割合が 10%以下



質問 1 2. 平常時に防災に関する知識を、あなたはどのように入手していますか

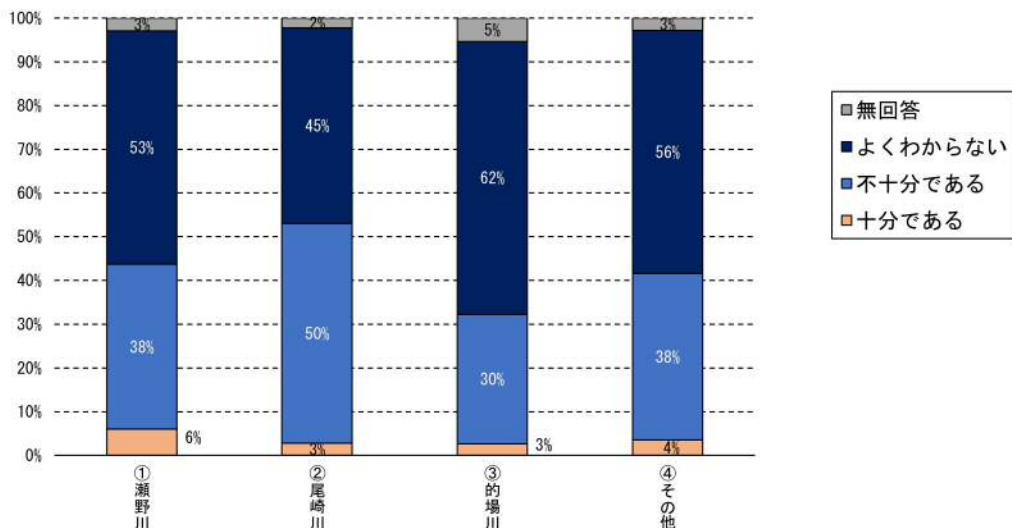
平常時における防災に関する知識は、どの河川も「テレビ・ラジオ」によるものが最も多く占めており、次点で「インターネット」「自治体などのパンフレット」となっており、各河川とも同様の傾向である。



#### 4.4 治水について感じていること

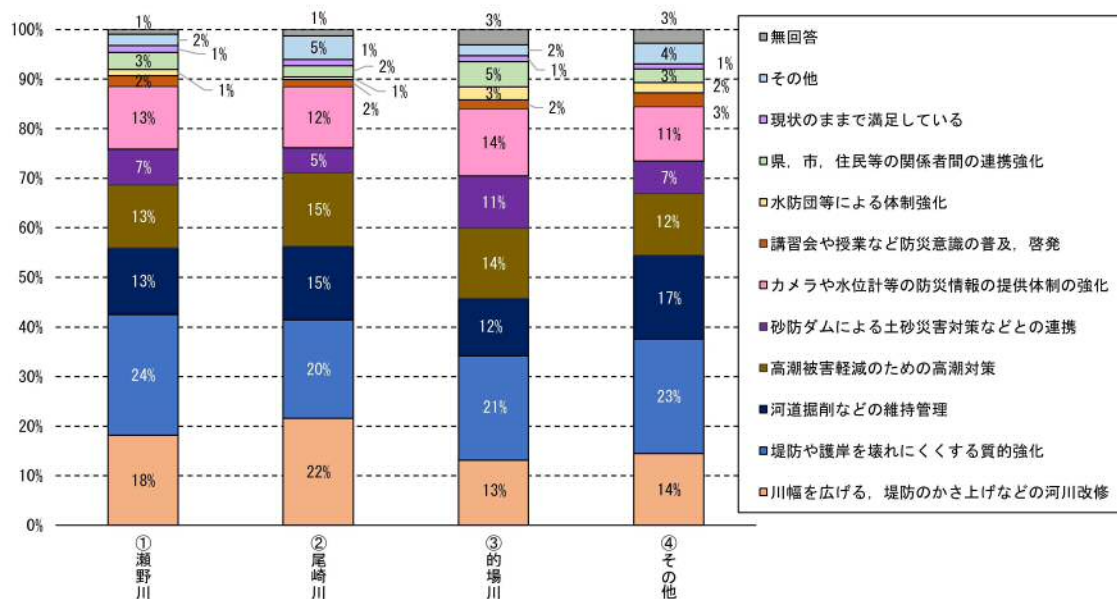
##### 質問 13-1. 現在の「瀬野川水系」の高潮対応状況について、どのように感じていますか

各河川共に「十分である」より「不十分」と回答のあった方が極めて多く、洪水対策についての要望が強いと考えられる。



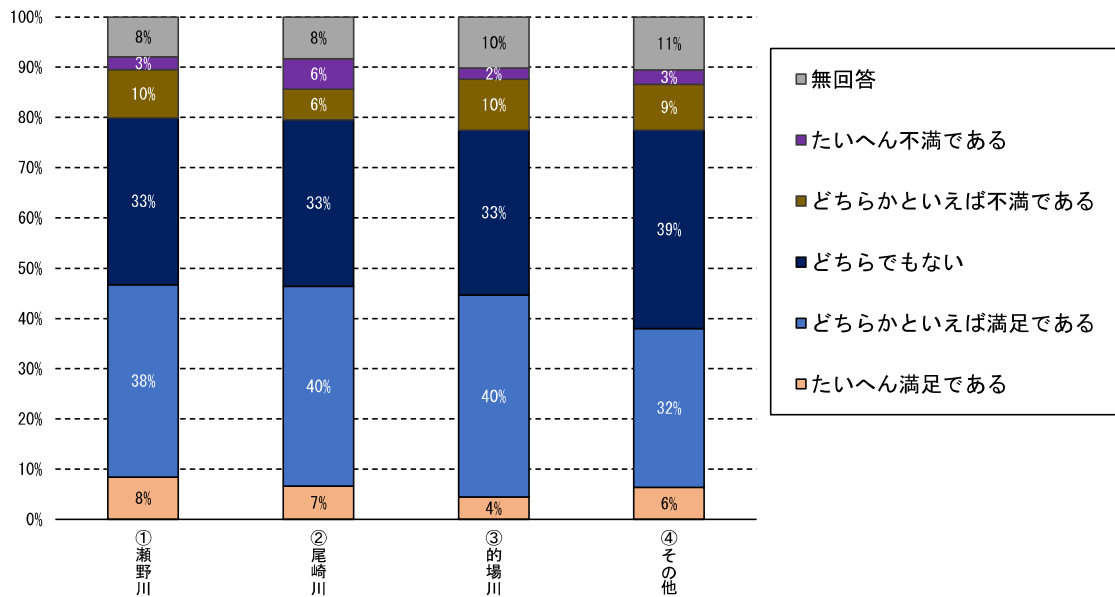
##### 質問 13-2. 今後、「瀬野川水系」の災害対策について、特に必要なものは何だと思いますか

各河川共に、瀬野川水系には河川改修，堤防・護岸強化，高潮対策，土砂災害のほか，維持管理の河道掘削，ソフト対策の防災情報を含めそれぞれ 11～24%と均等に必要とされており，このうち河川改修，堤防・護岸強化に対する要望がやや強い傾向である。



質問13-3.「瀬野川水系の川づくりについてのアンケート」の裏面に記載の“治水”の内容について、どう思いますか

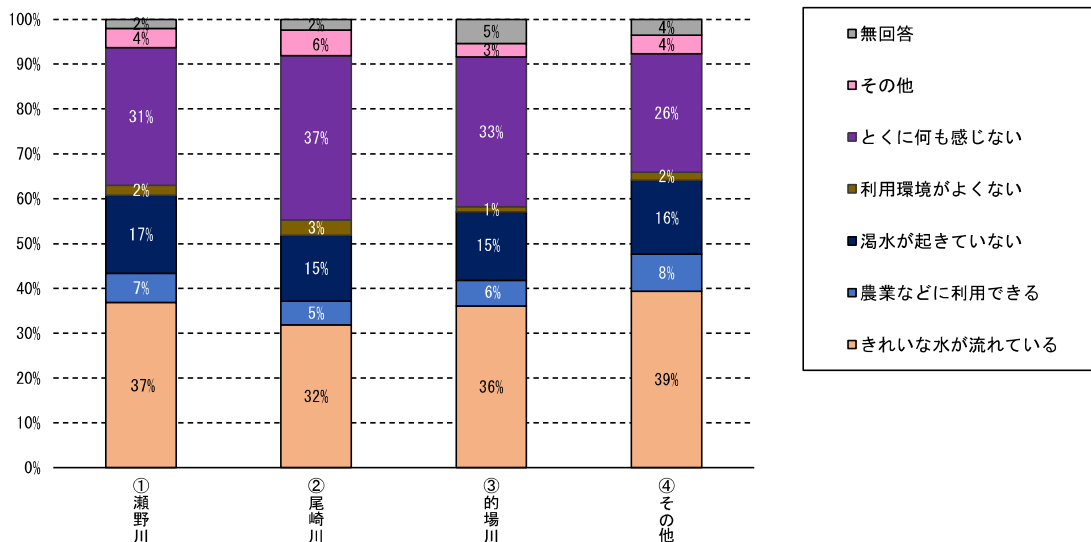
各河川共に、「たいへん満足」、「どちらかといえば満足である」と回答された割合が40%以上と、「たいへん不満である」「どちらかといえば不満である」と回答された割合（約12%）より多く、河川整備計画（素案）に示された治水対策（高潮対策）について賛同していると考えられる。



#### 4.5 利水、河川環境について感じていること

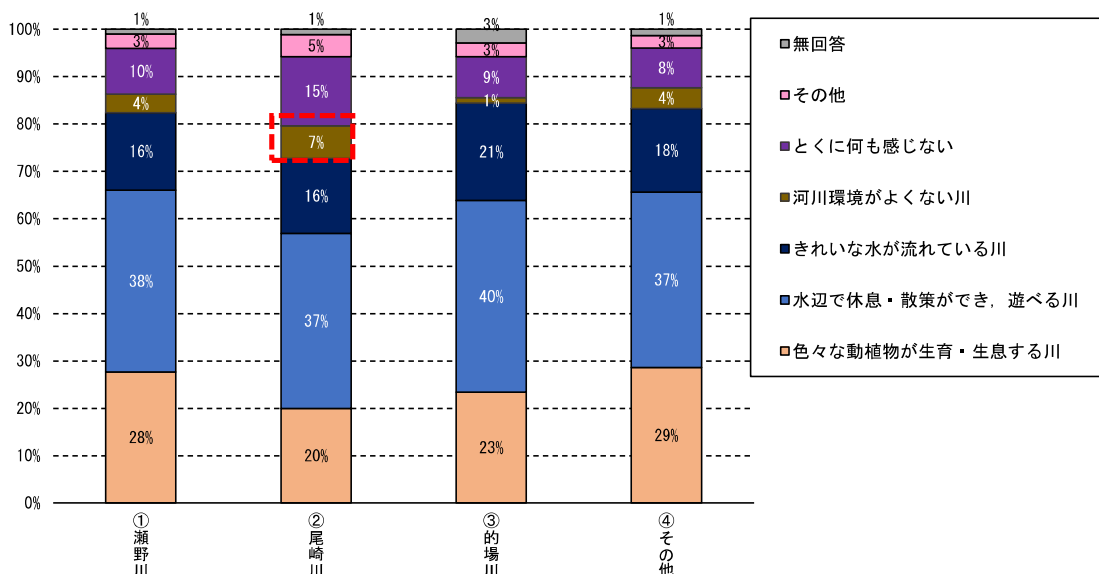
##### 質問 1 4 - 1. 現在、「瀬野川水系」の水利用についてどのように感じていますか

各河川共に、瀬野川水系は、「きれいな水が流れている」と回答された割合が 32～39%と最も多く、次点で「とくに何も感じない」が 26～37%となっている。尾崎川では、「きれいな水が流れている」という意見が他河川に比べてやや少ない傾向がある。



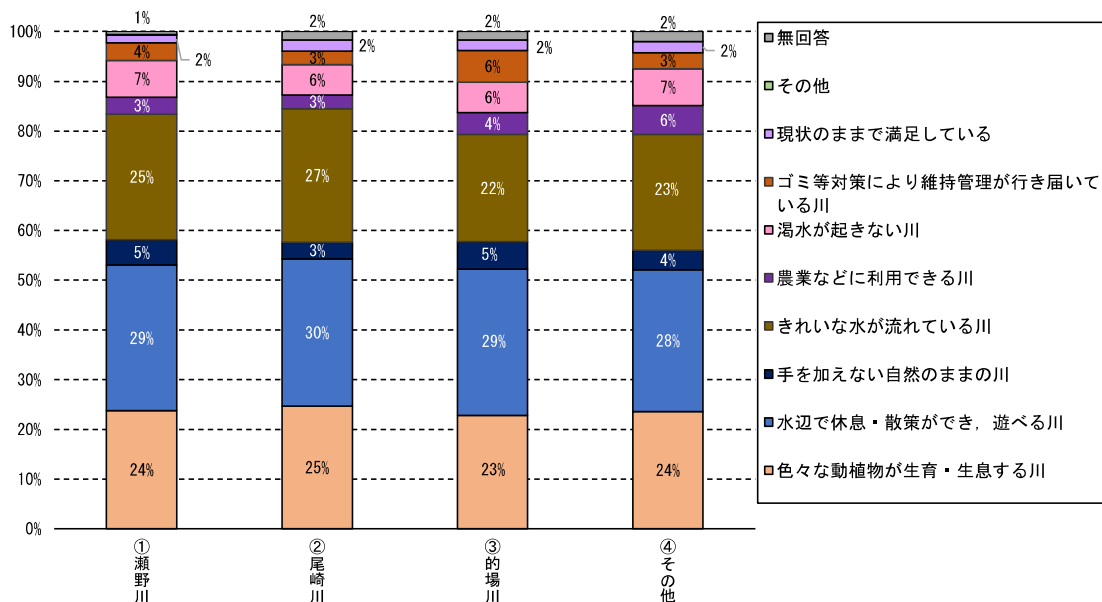
##### 質問 1 4 - 2. 現在、「瀬野川水系」の河川環境についてどのように感じていますか

各河川共に、瀬野川水系は「水辺で休息・散策ができ、遊べる川」という意見が最も多く 37～40%となっており、次点で「色々な動植物が生育・生息する川」と感じている割合も 20～28%と高い。ただ尾崎川では、「河川環境が良くない川」との回答が他河川よりも多い傾向にあった。



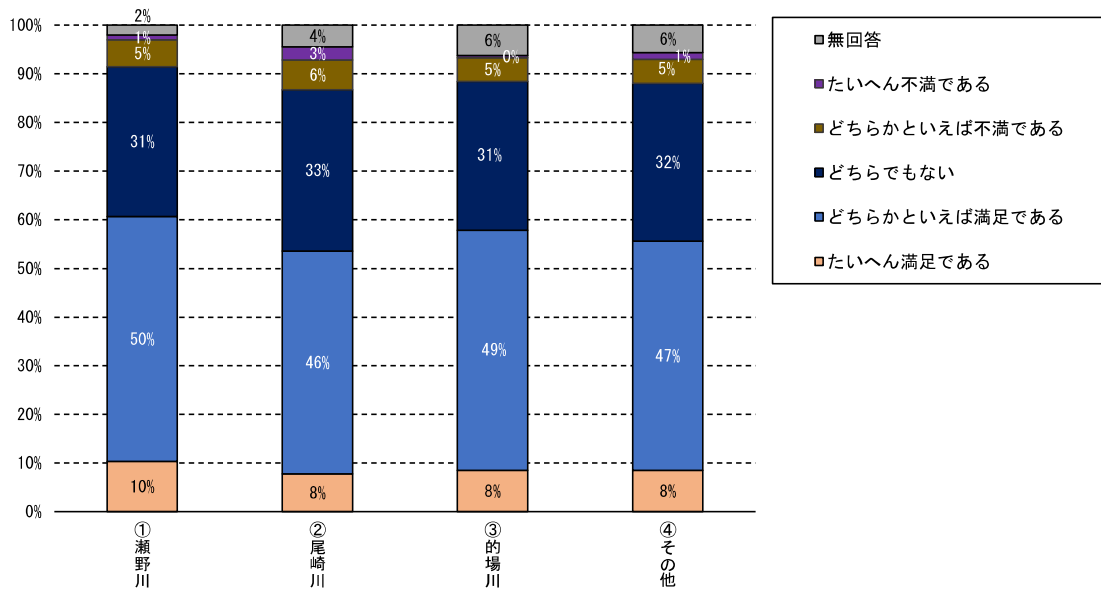
質問 1 4 - 3. 今後、「瀬野川水系」の水利用，河川環境に対して特に何を期待しますか

各河川共に，瀬野川水系は「水辺で休息・散策ができ，遊べる川」(28~30%)，「色々な動植物が生育・生息する川」(23~24%)，「きれいな水が流れている川」(22~25%)と回答された割合が多く，河川利用についての期待が多い傾向にある。



質問14-4. 「瀬野川水系の川づくりについてのアンケート」の裏面に記載の「瀬野川水系の川づくりについてのアンケート」の裏面に記載の“利水”, “河川環境”の内容について、どう思いますか

各河川共に、瀬野川水系は、「たいへん不満である」「どちらかといえば不満である」と回答された割合が約6%と最も少なく、利水の内容並びに河川環境の内容については、満足の傾向が高いと考えられる。



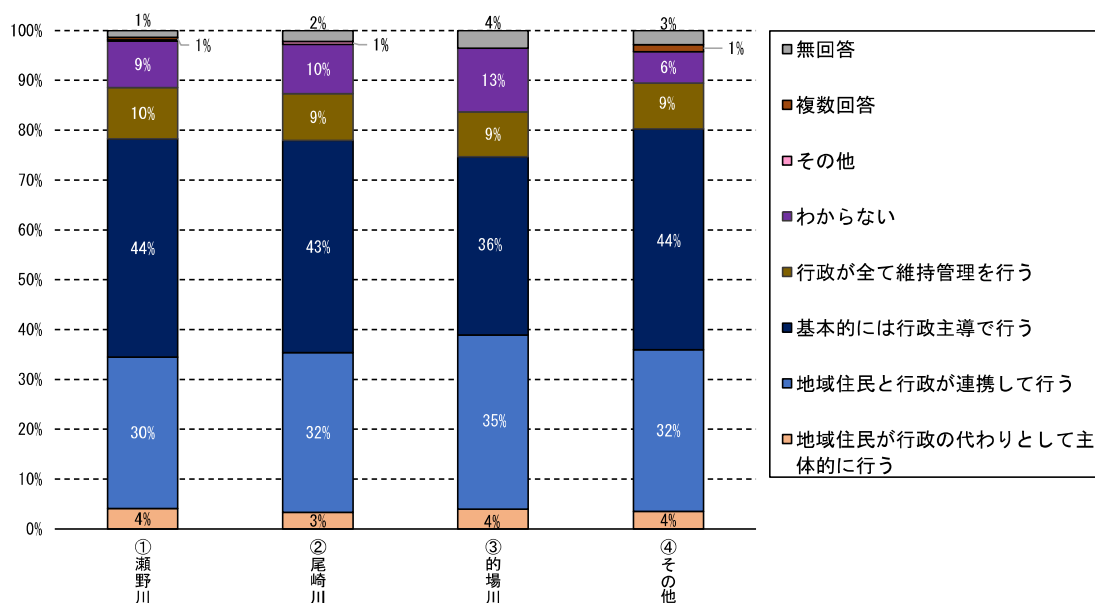


#### 4.6 維持管理について感じていること

##### 質問15. 平常時の川との関わり方に関する考え方に、最も近いものを選んでください

各河川共に、行政が主体的に行うという回答が多い傾向であった。

瀬野川水系は、「基本的には行政主導で行う河川の維持管理」と回答されている方が、36～44%を占めている。なお、「行政がすべて維持管理を行う」と回答された方は、9～10%であり、「地域住民と行政が連携して維持管理を行う」(30～35%)と回答された方よりも少ない傾向であった。

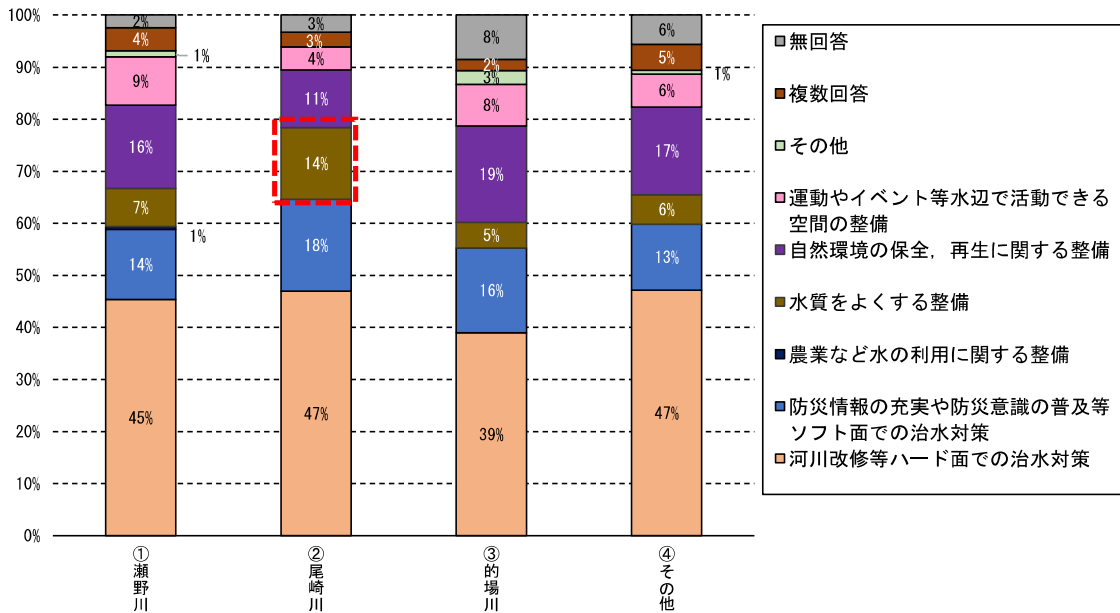


#### 4.7 今後の瀬野川水系の河川整備の優先度について

質問 16. 今後の瀬野川水系の河川整備は、どういった点を優先的に実施してほしいと思いますか

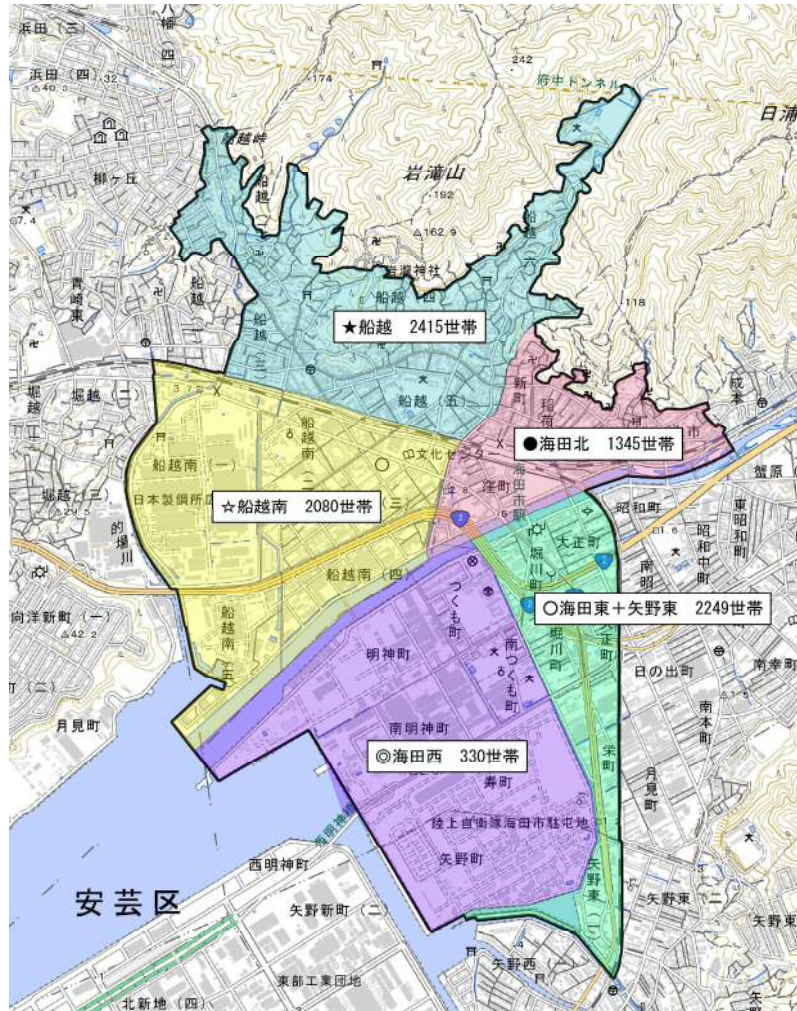
各河川共に、瀬野川水系の河川整備の優先度に対して、「河川改修等ハード面での治水対策」と回答されている方が 39～47%，次いで「自然環境の保全，再生に関する整備」と回答されている方が 11～17%を占めている。各河川共にハード整備面での治水対策の割合が大きい傾向を示している。

なお、尾崎川においては、「水質をよくする整備」と回答される割合が他河川よりも大きい傾向がある。



## 5. アンケート調査結果(クロス集計)：居住地別

居住地(質問2)での回答を船越，船越南，海田北，海田東+矢野東，海田西の5地区に分け，設問ごとの意見をクロス集計し，居住地毎の特性について，分析を行った。



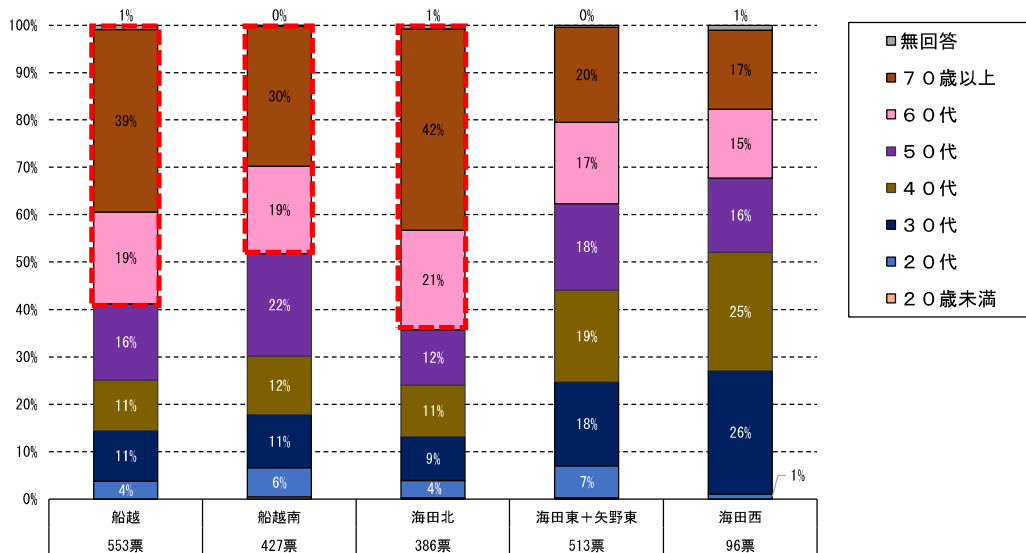
配布数と回収率

配布地区	配布数	回収数	地区別回収率	全体回収率
船越	2415	553	23%	7%
船越南	2080	427	21%	5%
海田北	1345	386	29%	5%
海田東+矢野東	2249	513	23%	6%
海田西	330	96	29%	1%
合計	8419	1975	-	23%

## 5.1 基本属性

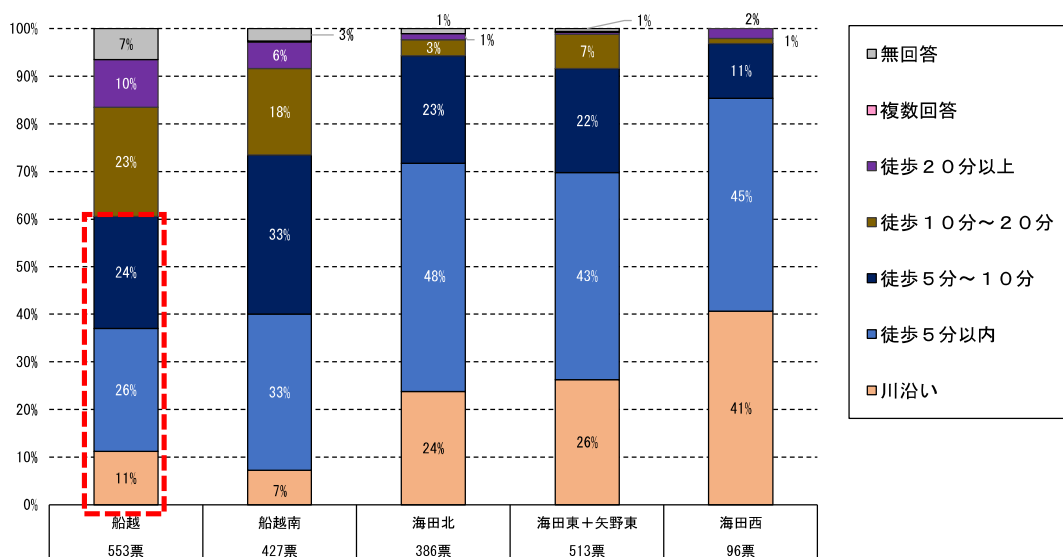
### 質問 1. 年齢を教えてください

瀬野川河口部右岸側（船越，船越南，海田北）地区において 60 歳以上が約 50～60%程度を占めており，海田東+矢野東，海田西では約 30～40%程度となっている。



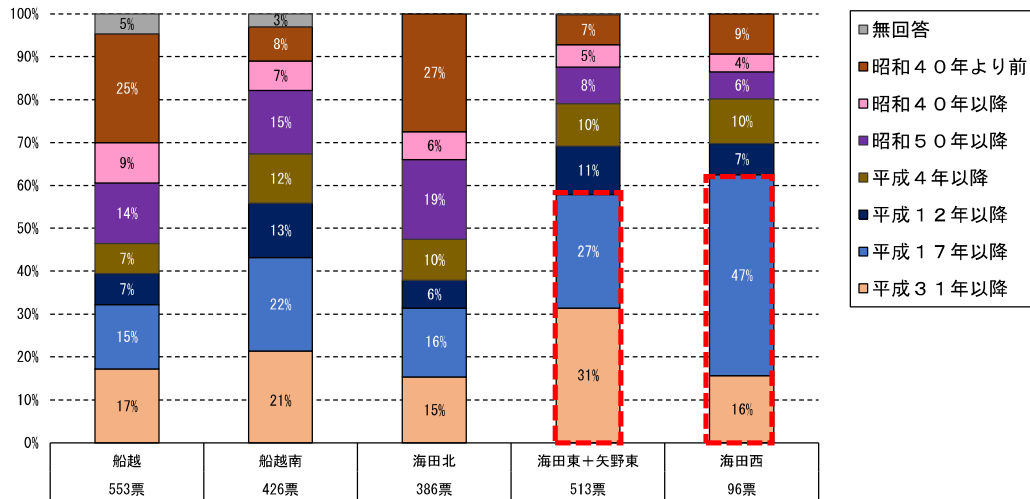
### 質問 4. 現在お住まいの場所は、「身近な川」から徒歩で何分かかりますか

河川に近い方(徒歩 10 分以内)に着目すると，全体的に約 70%以上と割合が高く，船越のみ 70%未満となっている。



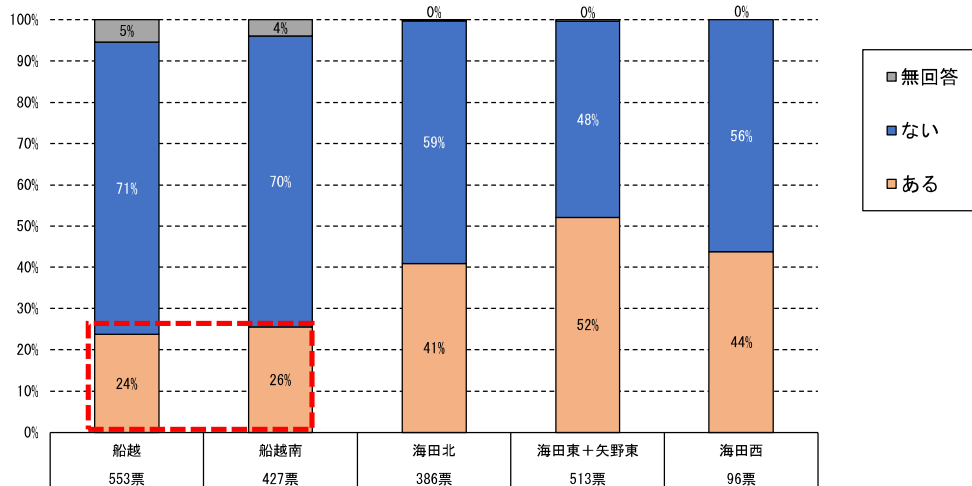
質問５－１. いつから現在の場所にお住まいですか

瀬野川河口部左岸側（海田東＋矢野東，海田西）地区において平成 17 年以降に居住された方の割合が大きい傾向を示している。



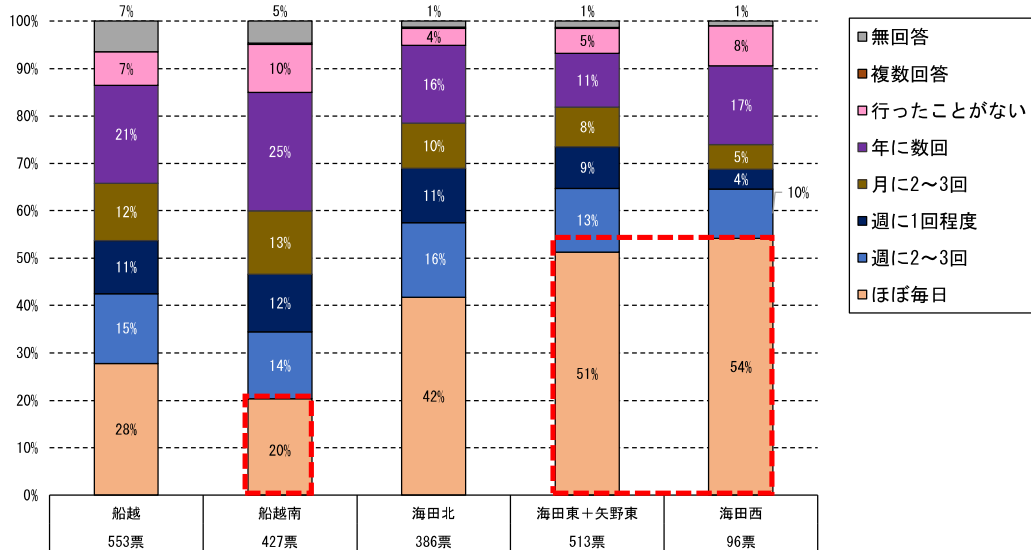
質問５－２ 水害を経験したことがありますか

海田北，海田東＋矢野東，海田西において水害経験が多く、瀬野川右岸側（船越，船越南）地区において少ない傾向となっている。



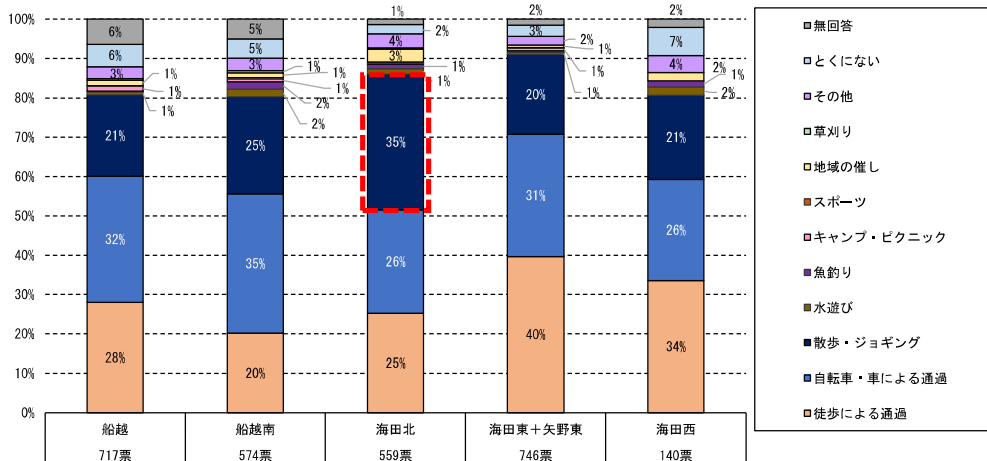
質問6. 「身近な川」を訪れるのはどの程度ですか

「身近な川」を訪れる頻度について、ほぼ毎日と答えた方が特に海田西、海田東+矢野東に多く約50%であった。船越南では20%と他地区と比較して少ない傾向にある。



質問7. 「身近な川」を訪れる主な目的は何ですか

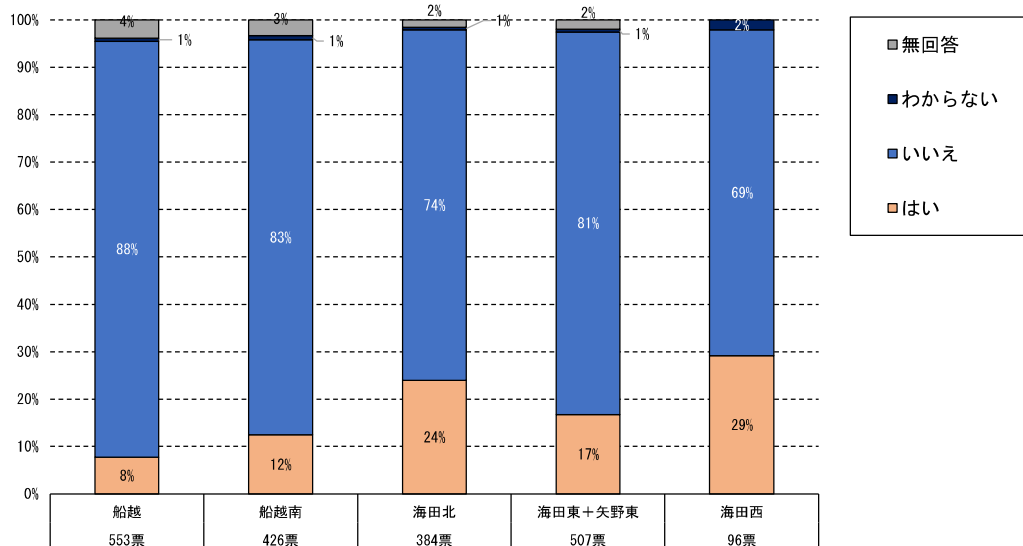
「身近な川」を訪れる目的については、全体的に徒歩や自転車・車による通過が多い傾向がある。海田北では散歩・ジョギングによる目的が35%と他地区よりやや多い傾向となっている。



5.2 洪水に対する防災意識（平成30年7月洪水，平成16年9月高潮，平成11年9月高潮，平成3年9月高潮）

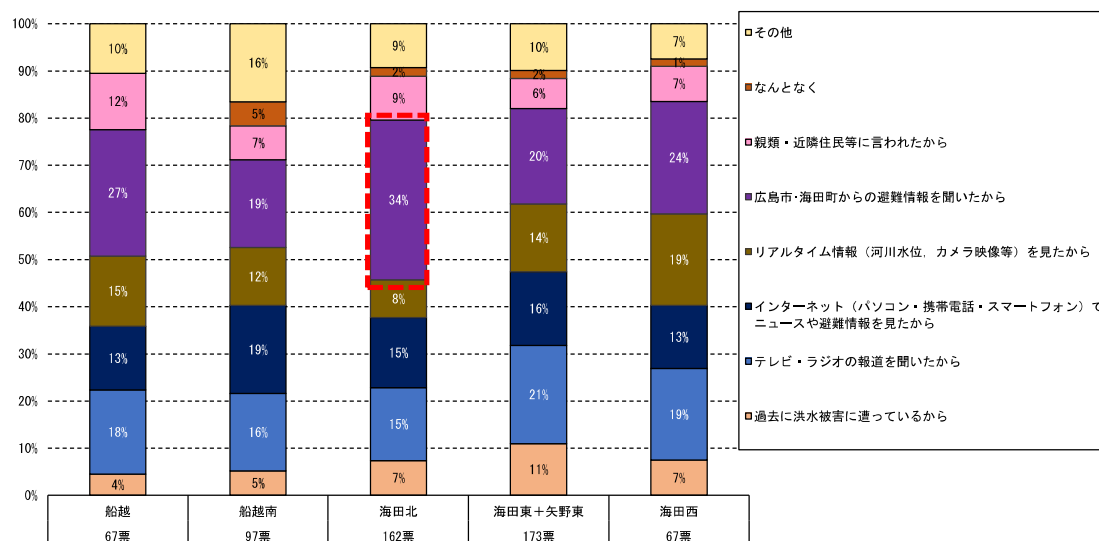
質問8. あなたは，近年水害時に避難しましたか

避難した割合は全体的に大きな差はなく，各地区で約1割～2割の人が近年水害時に避難している。海田西は約3割と他地区より多く，船越のみ8%と，1割を切っている。



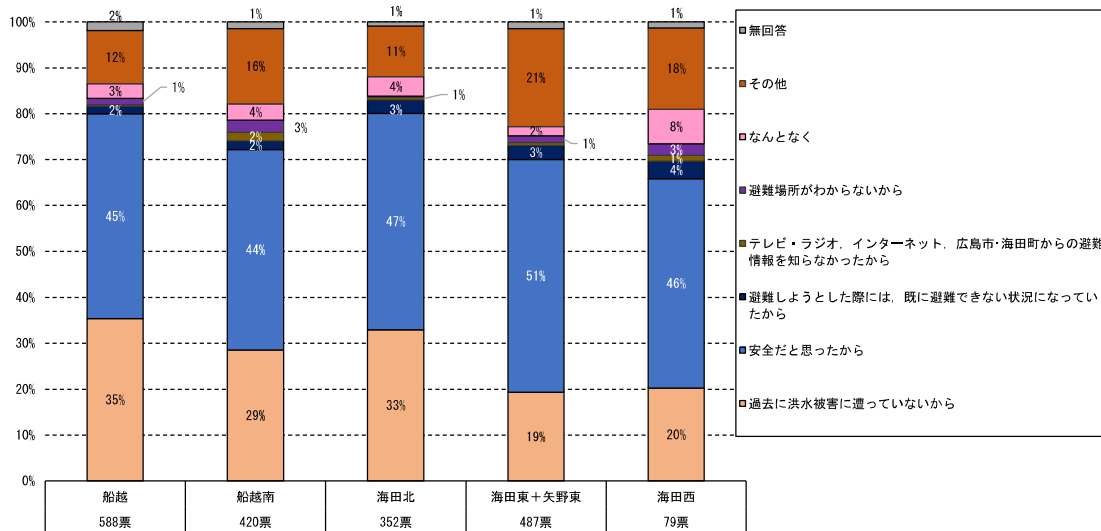
質問9. 質問8で「①はい」（避難した）理由（動機）をお聞かせください

避難した理由として主に割合を占めているのは，「テレビ・ラジオの報道」や「インターネット」，「リアルタイム情報」，「広島市・海田町からの避難情報を聞いたから」となっている。



質問 10. 質問 8 で「②いいえ」(避難しなかった)理由(動機)をお聞かせください

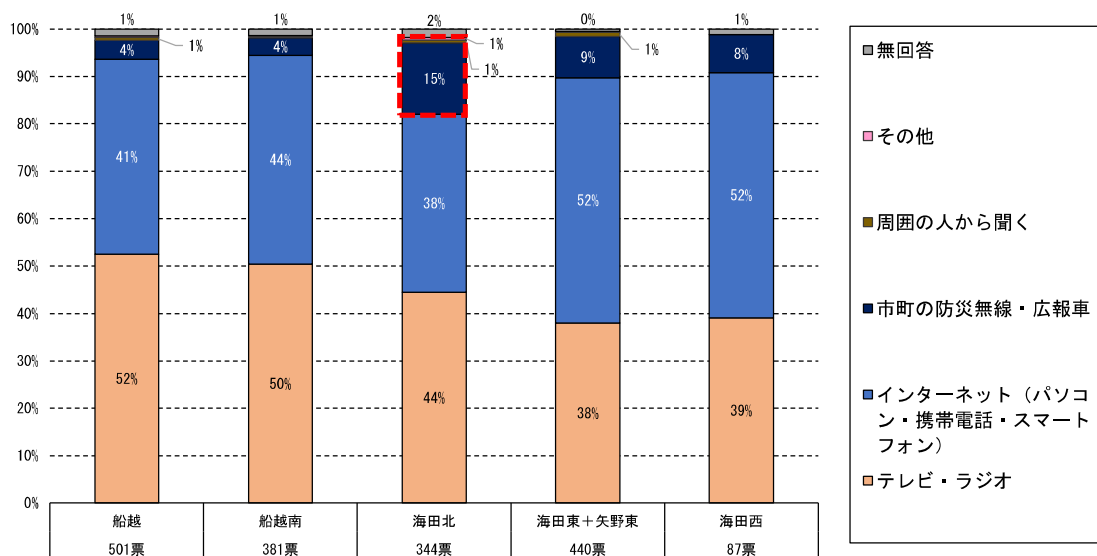
どの地区も主な理由として、「安全だと思ったから」、「過去に洪水被害に遭っていないから」と答える割合が大きかった。また、質問 8 において、近年水害時に避難した人の割合が他地区より少なかった船越は「過去に洪水被害に遭っていないから」の回答が他地区よりやや多い傾向にある。



5.3 防災情報の入手手段

質問 11 災害時にあなたが防災情報の収集を行う際に、最も利用するものは何ですか

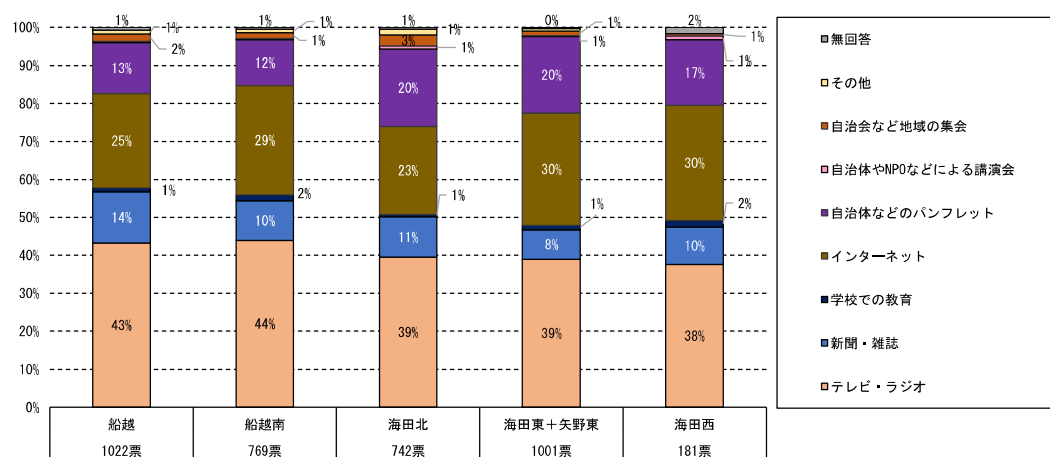
防災情報の収集については、「テレビ・ラジオ」、「インターネット」による収集が全体的に約 80%以上を占めている。各地区共に、「市町の防災無線・広報車」の割合が約 10%と低いが、海田北のみ 15%と他地区と比べて多い。





質問 1 2. 平常時に防災に関する知識を、あなたはどのように入手していますか

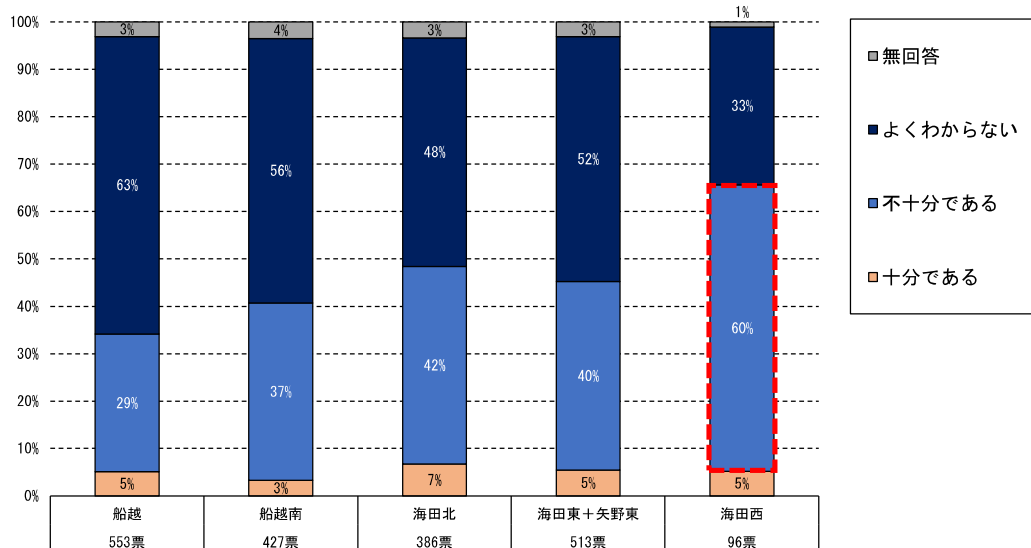
平常時における防災に関する知識は、どの地区も「テレビ・ラジオ」によるものが最も多く占めており、次点で「インターネット」「自治体などのパンフレット」となっており、各地区とも同様の傾向である。



## 5.4 治水について感じていること

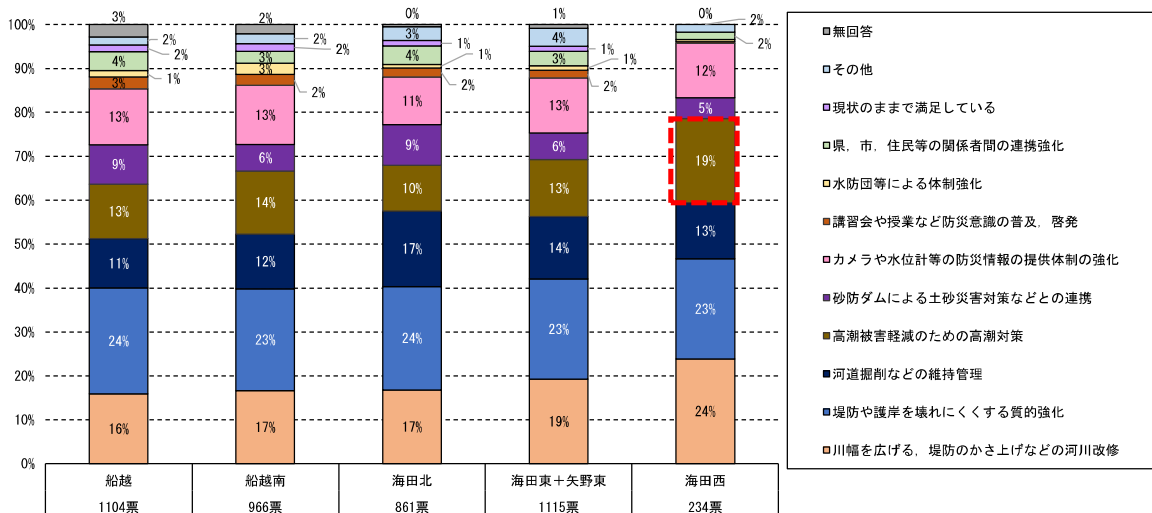
### 質問 13-1. 現在の「瀬野川水系」の高潮対応状況について、どのように感じていますか

各地区共に「十分である」より「不十分」と回答のあった方が極めて多く、洪水対策についての要望が強いと考えられる。海田西では60%の人が不十分であると回答している。



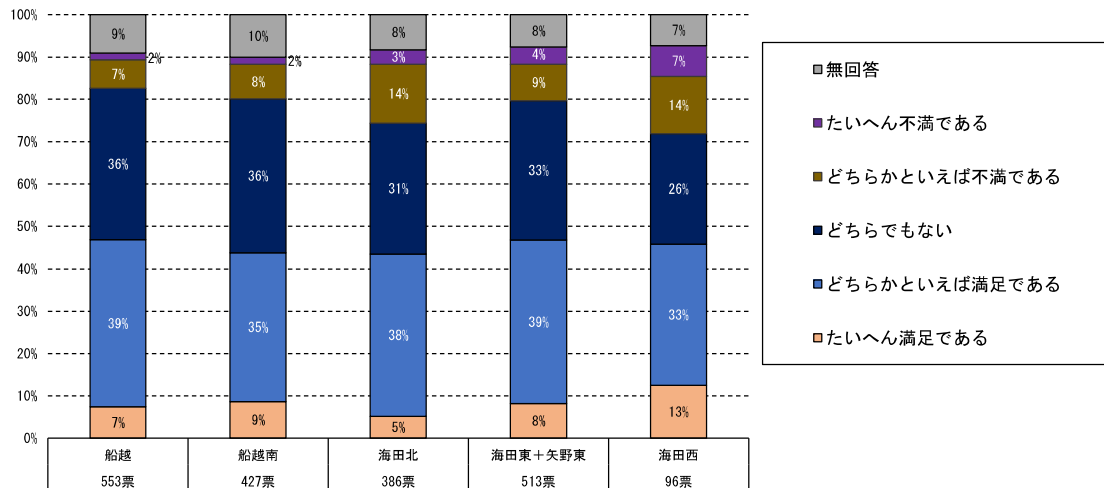
### 質問 13-2. 今後、「瀬野川水系」の災害対策について、特に必要なものは何だと思いますか

各地区共に河川ごとのクロス集計同様、瀬野川水系には河川改修、堤防・護岸強化、高潮対策、土砂災害のほか、維持管理の河道掘削、ソフト対策の防災情報を含めそれぞれ 11~24%と均等に必要とされており、このうち河川改修、堤防・護岸強化に対する要望がやや強い傾向である。海田西では、高潮対策への希望が19%と比較的高かった。



質問13-3.「瀬野川水系の川づくりについてのアンケート」の裏面に記載の“治水”の内容について、どう思いますか

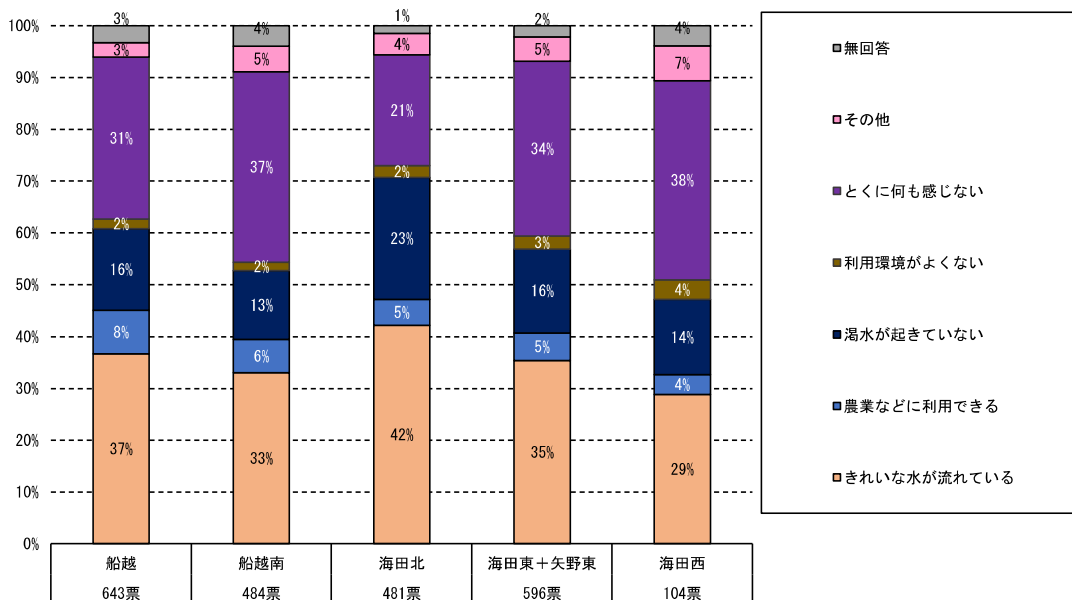
各地区共に、「たいへん満足」、「どちらかといえば満足である」と回答された割合が40%以上と、「たいへん不満である」「どちらかといえば不満である」と回答された割合（約9～21%）より多く、河川整備計画（素案）に示された治水対策（高潮対策）について賛同していると考えられる。



## 5.5 利水、河川環境について感じていること

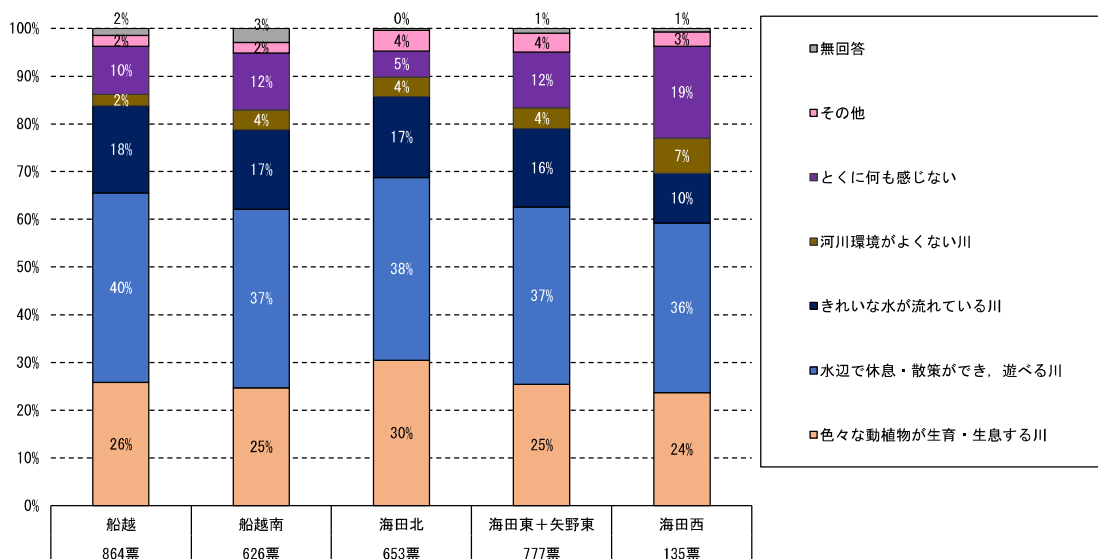
### 質問14-1. 現在、「瀬野川水系」の水利用についてどのように感じていますか

各地区共に、瀬野川水系は、「きれいな水が流れている」と回答された割合が約30%以上と最も多く、次に「とくに何も感じない」が21~38%となっている。



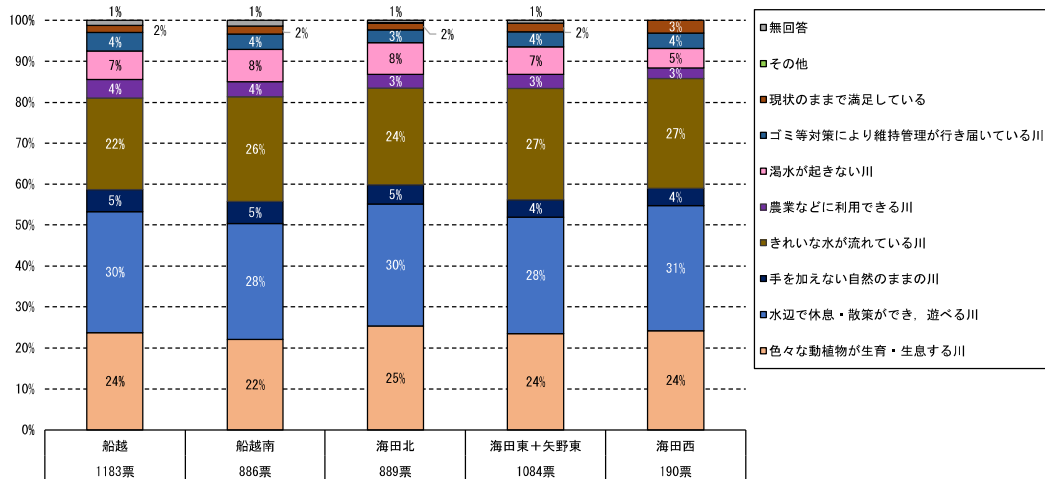
### 質問14-2. 現在、「瀬野川水系」の河川環境についてどのように感じていますか

各地区共に、瀬野川水系は「水辺で休息・散策ができ、遊べる川」という意見が最も多く36~40%となっており、次に「色々な動植物が生育・生息する川」と感じている割合も24~30%と高い。



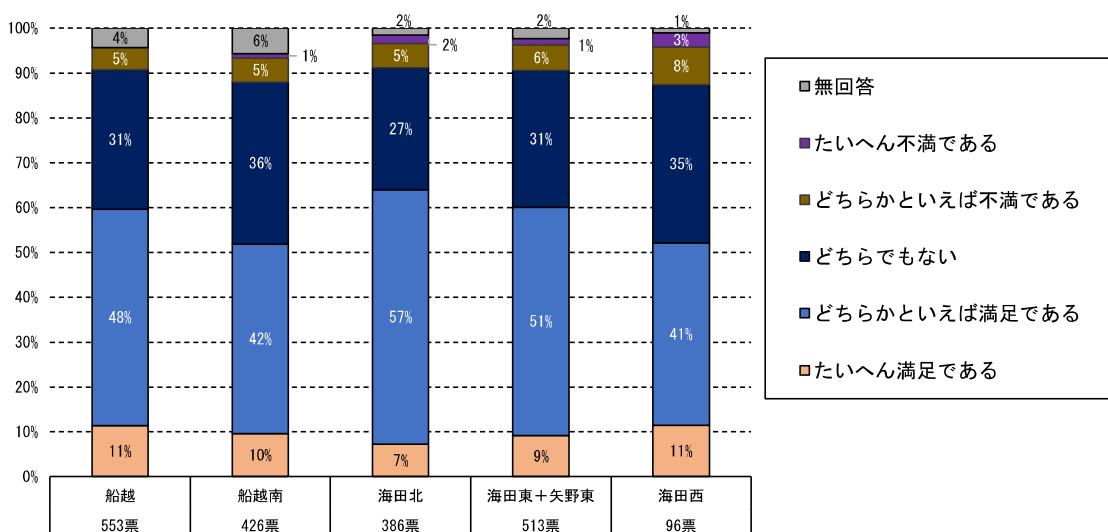
質問 1 4 - 3. 今後、「瀬野川水系」の水利用，河川環境に対して特に何を期待しますか

各地区共に，瀬野川水系は「水辺で休息・散策ができ，遊べる川」(28~31%)，「色々な動植物が生育・生息する川」(22~25%)，「きれいな水が流れている川」(22~27%)と回答された割合が多く，河川利用についての期待が多い傾向にある。



質問 1 4 - 4. 「瀬野川水系の川づくりについてのアンケート」の裏面に記載の「瀬野川水系の川づくりについてのアンケート」の裏面に記載の“利水”，“河川環境”の内容について，どう思いますか

各地区共に，瀬野川水系は，「たいへん満足である」「どちらかといえば満足である」と回答された割合が 50~60%程度あり，利水の内容並びに河川環境の内容については，満足の傾向が高いと考えられる。

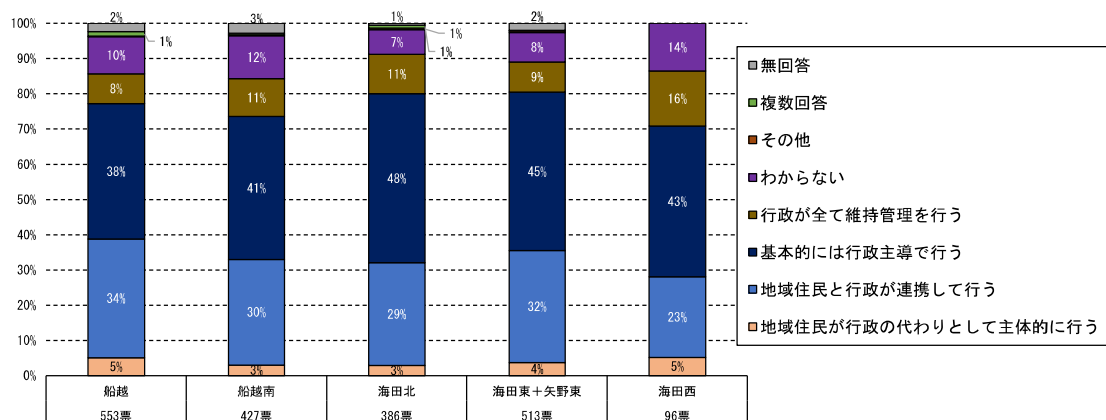


## 5.6 維持管理について感じていること

### 質問 15. 平常時の川との関わり方に関する考え方に、最も近いものを選んでください

各地区共に、行政が主体的に行うという回答が多い傾向であった。

瀬野川水系は、「基本的には行政主導で行う河川の維持管理」と回答されている方が、38～48%を占めている。なお、「行政がすべて維持管理を行う」と回答された方は、8～16%であり、「地域住民と行政が連携して維持管理を行う」（23～34%）と回答された方よりも少ない傾向であった。

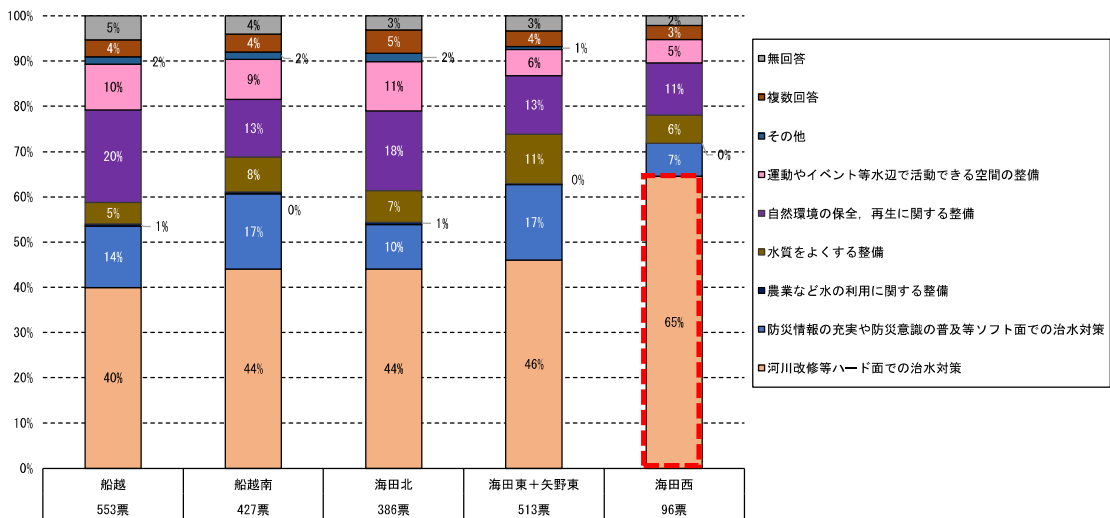


## 5.7 今後の瀬野川水系の河川整備の優先度について

質問 16. 今後の瀬野川水系の河川整備は、どういった点を優先的に実施してほしいと思いますか

各地区共に、瀬野川水系の河川整備の優先度に対して、「河川改修等ハード面での治水対策」と回答されている方が約40%以上あり、特に海田西では65%と他地区より多い傾向にある。

また、船越と海田北では「自然環境の保全、再生に関する整備」と回答されている方が約2割を占めており他地区よりやや多い傾向にある。各地区共にハード整備面での治水対策の割合が大きい傾向を示している。



# 瀬野川水系の川づくりについてのアンケート

みなさんのご意見をお聞かせください！

日頃より、広島県行政の推進に御協力いただき、御礼を申し上げます。

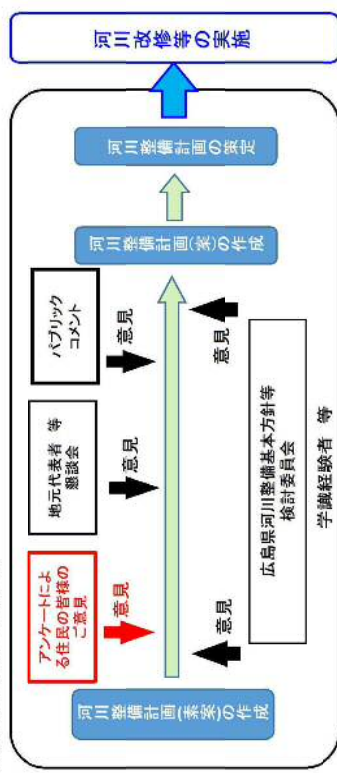
瀬野川水系では、概ね10年間の「具体的な整備の目標」及び「整備内容」を定めた河川整備計画を平成16年3月に策定し、主に環境整備事業を実施してきたところですが、平成16年9月の台風18号をはじめ、河口近辺において度々高潮による浸水被害が生じていることを踏まえ、このたび、河川整備計画の変更を検討しています。

計画策定に際し、地域の皆様が日頃から感じていることや川に求めるものなどを広く伺い、計画策定の参考とさせていただきますためにアンケート調査を行います。

より良い「川のありかた」の検討のため、ご協力をお願い致します。

## ■河川整備計画とは・・・

河川整備計画は、概ね20～30年間の具体的な河川工事及び河川の維持に関する事項等を定めた計画です。地域住民の皆様や学識経験者の意見を聴取し、策定することが河川法で規定されています。



河川整備計画策定の流れ

別紙「アンケート調査用紙」にご記入の上、同封の返信用封筒に入れ、**令和4年12月7日(水)**までに返信してください(切手は不要です)。

- ※ このアンケートにより収集した情報は、河川整備計画の作成にのみ使用いたします。
- ※ アンケート調査の結果は、「第30回河川整備基本方針検討委員会」の中で報告するほか、広島県河川課のホームページに掲載させていただきます。
- ※ アンケート調査用紙は広島県西部建設事務所でも入手可能です。
- ※ 本アンケートは下記のURLからでも回答できます。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshoiki/99/seibikeikaku-pabukome.html>  
 (「広島県 河川課 整備計画 アンケート」で検索)

広島県 西部建設事務所 担当者: 西部運統立体交差事業課 久保・見藤  
 〒732-0816 広島県広島市南区比治山本町16-12  
 TEL (082) 250-8180 FAX (082) 255-3010

## 瀬野川と流域の概要

瀬野川は、その源を東広島市の曾場ヶ原山に発し、概ね西流し、途中、熊野川や畑野川等の支川を合わせながら広島市安芸区や海田町を貫流し、広島湾において瀬戸内海へ注ぐ二級河川です。その流域は122.2km<sup>2</sup>、幹線流路延長22.5kmに及び、広島市、東広島市、海田町、瀬野町の2市2町にまたがり、国道2号やJR山陽本線が並走するなど広島市都市圏の東部地方における社会・経済・生活の基盤をなしています。



## 浸水被害の発生状況

瀬野川水系では、河口部において、平成3年、平成11年、平成16年に高潮による浸水被害が発生しています。また、平成30年洪水では瀬野川や支川の土砂堆積による溢水が発生し、広範囲の浸水被害が発生しています。



※ 【上図】広島市HP「広島市の台風にによる高潮浸水区域図」  
 (https://www.city.hiroshima.lg.jp/shobou/takashio/)



# 瀬野川水系の河川整備計画の概要

広島県ではこのような川づくりを検討しています

## 治水について

- 瀬野川河口部において、伊勢湾台風規模の台風が広島湾を通過した場合でも、越水による浸水被害（越波による浸水被害は除く）を防止することを目的として、高潮対策を実施します。
- 瀬野川河口部は、海岸保全区域において実施している高潮対策事業と整合を図り、広島沿岸海岸保全基本計画に準じてT.P.+4.76m堤防高で高潮堤防を整備します。

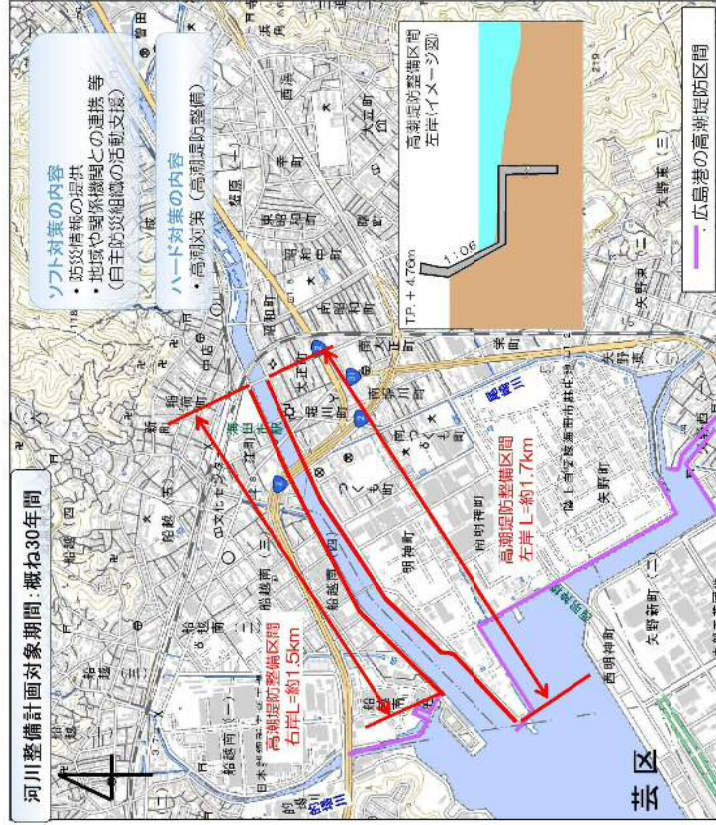
※T.P.Om：東京湾平均海面（Tokyo Pel）から5Omの高さ（標高Om）

## 利水について

- 貴重な動植物の生息・生育環境、景観を保全し、比較的良好的な現在の状況を維持します。また、濁水時には関連情報を収集し、状況把握や河川流量等に関する情報提供を行うなど円滑な治水調整を行います。
- 流域の市街化の進展及び土地利用の変化などに起因する水質悪化が懸念される際は、住民や関係機関と連携を図りながらその対策を行います。

## 河川環境について

- カジカ中卵型、ゲンジボタル、カワセミなど貴重な生物が生息する現在の良好な自然環境に配慮するとともに、瀬と淵、水際の植生を復元するなど、河川毎、地域毎の特性にも配慮した河川環境の保全に努めます。
- 河川空間の利用に関しては、都市部における貴重なオープンスペースとなっている中・下流部において、関係自治体や地域住民と連携して河川公園等の河川空間の保全に努めます。



## 維持管理や関係機関との連携について

- 平成30年7月豪雨の洪水で浸水被害が発生した区間については、暫定的な護岸のかさ上げを実施するなど、浸水被害の軽減を図ります。堆積した土砂等が、治水上支障となる場合は、環境面も配慮しつつ掘削等必要な対策を講じます。
- 河床低下により、護岸等構造物の基礎が露出すると災害の原因になるため、巡視・点検等において早期発見に努めるとともに、河川管理上支障となる場合は、適切な処理を行います。
- 気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、河川の流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で水害の軽減を図ります。

アンケートは、別紙になります。ご協力をお願いいたします。

# アンケート調査用紙

皆様のご意見を川づくりに反映していきます。

- ▶ 今回のアンケート調査は、瀬野川流域における河川整備計画を策定するにあたり、地域住民の皆様が日頃から感じていることや川に求めるものなどを広く伺い、河川整備計画を検討する際の参考とさせていただきます。
- ▶ 回答は選択肢の中から選び、本アンケート用紙に直接○を付けてください。また、「その他」を選択した場合は、後ろの( )内に具体的にその内容をご記入ください。
- ▶ 質問によっては、「複数選択可」としてまいりますので、ご注意ください。
- ▶ 質問は、質問1～質問16まで存在し、おちて面、うら面にございます。
- ▶ なお、本アンケートにご回答いただく前に、別紙の「瀬野川水系の川づくりについて」を一読して頂き、以下の質問にお答えください。

## 基本属性

- 質問1** 年齢を教えてください(1つ選択)  
 ①20歳未満 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70歳以上
- 質問2** お住まいの地域を教えてください ※地域特性を把握するため、必ずご記入ください  
 広島市安芸区 ( ) 丁目 ( )  
 安芸郡海田町 ( ) 町 ( )
- 質問3** 「最も身近な川」はどれですか(1つ選択)  
 ①瀬野川 ②尾崎川 ③的場川 ④その他 ( ) 川) ⇒ 質問4へ①～④回答の方)  
 ⑤身近な川はない ⇒ 質問8へ
- 質問4** 現在お住まいの場所は、「身近な川」からどのくらいの距離ですか(1つ選択)  
 ①川沿い ②徒歩5分以内 ③徒歩5分～10分 ④徒歩10分～20分 ⑤徒歩20分以上
- 質問5-1** いつから現在の場所にお住まいですか(1つ選択)  
 ①平成31年以降 ②平成17年以降 ③平成12年以降 ④平成4年以降  
 ⑤昭和50年以降 ⑥昭和40年以降 ⑦昭和40年より前
- 質問5-2** 水書を経験したことがありますか  
 「①ある」を選択された方は、経験された水書を○で囲んでください(複数選択可)  
 平成30年7月豪雨・平成16年9月高潮・平成11年9月高潮・平成3年9月高潮・  
 (その他 ( ) )  
 ②ない

**質問6** 「身近な川」に訪れるのはどの程度ですか(1つ選択)

- ①ほぼ毎日 ②週に2～3回 ③週に1回程度 ④月に2～3回  
 ⑤年に数回 ⑥行ったことがない

**質問7** 「身近な川」を訪れる主な目的は何ですか(複数選択可)

- ①徒歩による通過 ②自転車・車による通過 ③散歩・ジョギング ④水遊び  
 ⑤魚釣り ⑥キャンプ・ピクニック ⑦スポーツ ⑧地域の催し  
 ⑨その他 ( ) ⑩とくにない

**水書に対する防災意識** (平成30年7月豪雨、平成16年9月高潮、平成11年9月高潮、平成3年9月高潮)

**質問8** あなたは、近年水害時に避難しましたか(1つ選択)

- 「①はい」を選択された方は、水書を○で囲んで、避難先を選択してください  
 ①はい (平成30年7月豪雨・平成16年9月高潮・平成11年9月高潮・平成3年9月高潮)  
 (避難先: 避難所 ( ) 友人宅 ( ) 自宅(2階以上) ( ) ⇒ 質問9へ  
 ②いいえ ⇒ 質問10へ  
 ③わからない ⇒ 質問11へ

**質問9** 質問8で「①はい」(避難した)理由をお聞かせください(複数選択可)

- ①過去に浸水被害に遭っているから ②テレビ・ラジオの報道を聞いたから  
 ③インターネット(パソコン・携帯電話・スマートフォン)でニュースや避難情報を見たから  
 ④リアルタイム情報(河川水位、カメラ映像等)を見たから  
 ⑤広島市・海田町からの避難情報聞いたから ⑥親類・近隣住民等に言われたから  
 ⑦なんとなく ⑧その他 ( )

**質問10** 質問8で「②いいえ」(避難しなかった)理由をお聞かせください(複数選択可)

- ①過去に浸水被害に遭っていないから ②安全だと思ったから  
 ③避難しようとした際には、既に避難できない状況になっていたから  
 ④テレビ・ラジオ、インターネット、広島市・海田町からの避難情報知らなかったから  
 ⑤避難場所がわからないから ⑥なんとなく ⑦その他 ( )

## 防災情報の入手手段

**質問11** 災害時にあなたが防災情報の収集を行う際に、最も利用するものは何ですか(1つ選択)  
 ①テレビ・ラジオ ②インターネット(パソコン・携帯電話・スマートフォン)  
 ③市町の防災無線・広報車 ④周囲の人から聞く ⑤その他 ( )

**質問12** 防災に関する知識を、あなたはどのように入手していますか(複数選択可)

- ①テレビ・ラジオ ②新聞・雑誌 ③学校での教育 ④インターネット  
 ⑤自治体などのパンフレット ⑥自治体やNPOなどによる講演会 ⑦自治会など地域の集會  
 ⑧その他 ( )

★「うら面」へお進みください

治水について感じていること

質問1 3-1 現在の「瀬野川水系」の高潮対応状況について、どのように感じていますか

- ①十分である
- ②不十分である
- ③よくわからない

質問1 3-2 今後、「瀬野川水系」の災害対策について、特に必要なものは何だと思えますか（複数選択可）

- ①川幅を広げる、堤防のかさ上げなどの河川改修
- ②堤防や護岸を壊れにくくする質的強化
- ③河道掘削などの維持管理
- ④高潮被害軽減のための高潮対策
- ⑤砂防ダムによる土砂災害対策などの連携
- ⑥カメラや水位計等の防災情報の提供体制の強化
- ⑦講習会や授業など防災意識の普及、啓発
- ⑧水防団等による体制強化
- ⑨県、市、住民等の関係者間の連携強化
- ⑩現状のままで満足している
- ⑪その他（ ）

質問1 3-3 「瀬野川水系の川づくりに関するアンケート」の裏面に記載の“治水”の内容について、どう思えますか（1つ選択）

- ①たいへん満足である
- ②どちらかといえば満足である
- ③どちらでもない
- ④どちらかといえば不満である
- ⑤たいへん不満である

利水、河川環境について感じていること

質問1 4-1 現在、「瀬野川水系」の水利用についてどのように感じていますか（複数選択可）

- ①きれいな水が流れている
- ②農業などに利用できる
- ③濁水が起きていない
- ④利用環境がよくない（理由）
- ⑤とくに何も感じない
- ⑥その他（ ）

質問1 4-2 現在、「瀬野川水系」の河川環境についてどのように感じていますか（複数選択可）

- ①色々な動植物が生育・生息する川
- ②水辺で休息・散策ができ、遊べる川
- ③きれいな水が流れている川
- ④河川環境がよくない川（理由）
- ⑤とくに何も感じない
- ⑥その他（ ）

質問1 4-3 今後、「瀬野川水系」の水利用、河川環境に対して何を期待しますか（複数選択可）

- ①色々な動植物が生育・生息する川
- ②水辺で休息・散策ができ、遊べる川
- ③手を加えない自然のままの川
- ④きれいな水が流れている川
- ⑤農業などに利用できる川
- ⑥濁水が起きない川
- ⑦現状のままで満足している
- ⑧その他（ ）

質問1 4-4 「瀬野川水系の川づくりに関するアンケート」の裏面に記載の“利水”、“河川環境”の内容について、どう思えますか（1つ選択）

- ①たいへん満足である
  - ②どちらかといえば満足である
  - ③どちらでもない
  - ④どちらかといえば不満である
  - ⑤たいへん不満である
- （利水・河川環境）※④の選択された方：不楽のある内容を○で囲んでください  
（利水・河川環境）※⑤の選択された方：不楽のある内容を○で囲んでください

維持管理について感じていること

質問1 5 平常時の川との関わり方に関する考え方に、最も近いものを選んでください（1つ選択）

- ①地域住民が積極的にボランティア活動を行い、行政に代わり主体的に地域の川の維持管理を行う
- ②地域住民と行政が連携して、役割を決めながら維持管理を行う
- ③基本的には行政主導で、希望する地域住民に声かけや支援を行いながら維持管理を行う
- ④行政が全て維持管理を行う
- ⑤わからない
- ⑥その他（ ）

今後の本水系の河川整備の優先度について

質問1 6 今後の瀬野川水系の河川整備は、どういった点を優先的に実施してほしいと思いますか（1つ選択）

- ①河川改修等ハード面での治水対策
- ②防災情報の充実や防災意識の普及等ソフト面での治水対策
- ③農業など水の利用に関する整備
- ④水質をよくする整備
- ⑤自然環境の保全、再生に関する整備
- ⑥運動やイベント等水辺で活動できる空間の整備
- ⑦その他（ ）

瀬野川の河川整備計画に関するご意見など、ご自由にお書きください

（ご意見が「どのような項目に該当するか」を選択（○を記入）した上で、記入してください）  
（記入欄）

項目： 治水 ・ 利水 ・ 河川環境 ・ 維持管理 ・ その他

---



---



---



---

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。  
誠に勝手ではございますが、アンケートの回答期間は以下のとおりとさせていただきます。

12月7日（水）までにポストに投函してください

\*アンケートの回答は、同封の『返信用封筒』にてご返信ください。

問い合わせ先

【アンケート実施者】 広島県 西部建設事務所 担当：久保、見藤 TEL：082-250-8160  
【アンケート委託業者】

中電技術 コンサルタント株式会社 河川本部河川砂防部 担当：佐藤、坂田 TEL：082-256-3348